

# DINS KANSAI

【GE事業所、RAC事業所、BE事業所、株式会社GA関西】

○月□日 △曜日 日直 エコアクション21事務局

## 大栄環境グループ

環境川柳 年間グランプリ 投票作品

### SDGS部門



禁煙し 家族もよろこぶ 我肺も



あなた次第 ゴミが資源の 分れ道



魚釣り ゴミしか釣れず クリーンデー



決めつける 相手の心 締めつける



男らしい 女らしいは ダメらしい

### 決定



明日の為 武器ではなくて 手を取ろう



分けあえる アンパンマンで 教わった



脱炭素 子供に聞かれ ググる父



買い物は アクセル踏まず ペダルこぐ

### 経営方針部門

### 決定

信頼は 日々の努力の 積み重ね

日々感謝 築いた信頼 次世代へ

信頼は 未来へ続く 道しるべ



## 取組詳細版

DINS関西株式会社

発行日：2023年7月31日

対象期間：2022年4月1日 ~ 2023年3月31日

環境川柳 2021年度 年間グランプリ作品 より



# はじめに

DINS関西株式会社環境経営レポート【取組詳細版】をご覧くださいありがとうございます。

環境経営レポート2022年度【概要版】ではご紹介しきれなかった取り組み内容を、より詳しく取組詳細版としてご紹介をさせていただきます。

・TOPICS① エコアクション21オブザイヤー2022 銀賞・優良賞 1

・TOPICS② エコドライブコンクール 環境大臣賞 2

## 環境経営計画 (P3-P22)

### ・二酸化炭素排出量削減

【GE：総務課・計量課】ガソリン・軽油使用量の削減	3
【GE：サーマルリサイクル課】ガソリン使用量の削減	4
【GE：サーマルリサイクル課】軽油使用量の削減	4
【GE：マテリアルリサイクル課】軽油（GTL）使用量の削減	5
【GE：マテリアルリサイクル課】重油（MCF）使用量の削減	5
【GE：サーマルリサイクル課】重油使用量の削減	6
【GE：総務課・計量課】ガス使用量の削減	6
【GE：サーマルリサイクル課】電力量の削減	7
【RAC：業務三課】軽油使用量の削減	8
【RAC：総務課】ガソリン使用量の削減	9
【RAC：業務一課】軽油使用量の削減	9
【RAC：業務一課・保全】電気使用量の削減	10
【BE：総務課】ガソリン使用量の削減	10
【BE：チップ製造課】軽油使用量の削減	11
【BE：総務課】使用電力量の削減	11
【GA】軽油使用量の削減	12
【GA】使用電力量の削減	12

### ・総排水量の削減

【GE：サーマルリサイクル課】上水使用量の削減	13
【GE：サーマルリサイクル課】工業用水使用量の削減	13
【RAC：】上水使用量の削減	14
【RAC：】工業用水使用量の削減	14
【BE：総務課】上水使用量の削減	15
【BE：総務課】工業用水使用量の削減	15

#### 略称について

- ・【GE】 =GE事業所
- ・【RAC】 =RAC事業所
- ・【BE】 =バイオエタノール事業所
- ・【GA】 =グリーンアローズ関西

### ・廃棄物排出量の削減

【GE：サーマルリサイクル課】事業系一般廃棄物の削減	16
【GE：マテリアルリサイクル課】リサイクル率の向上	16
【RAC：総務課】事業系一般廃棄物の抑制・削減	17
【RAC：業務一課】リサイクル率の向上	17
【BE：総務課】事業系一般廃棄物の抑制・削減	18
【BE：総務課】リサイクル率の向上	18
【GA】事業系一般廃棄物の抑制・削減	19

### ・グリーン購入の推進

【GE：総務課・計量課】グリーン購入の推進	19
-----------------------	----

### ・事業活動による環境配慮

【GE：サーマルリサイクル課】化学物質使用量の把握	20
【BE：総務課】化学物質使用量の把握	20
【GE：サーマルリサイクル課】排ガス自主基準値の順守	21
【GE：サーマルリサイクル課】地域貢献・緑の活動	21
【RAC・BE・GA】：地域貢献・みどりの活動、全員参加型環境活動の推進	22

みどりの委員会	23
教育訓練計画	24
外部コミュニケーション	26
環境ラリー	27
D-MEN	32
終わりにあたって (裏表紙)	

# エコアクション21 オブザイヤー 2022

・ レポート部門

銀賞

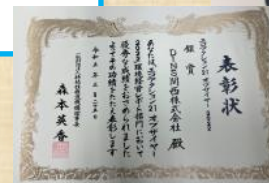


・ ソーシャル部門

優良賞



W受賞しました!



環境経営レポート 2021年度  
概要版・取組詳細版

エコアクション21オブザイヤーは、環境省策定の環境マネジメントシステムガイドライン「エコアクション21」の認証事業者における環境経営レポート及び社会課題解決につながる取り組みを顕彰することで、脱炭素社会の実現、SDGsの達成に向けた多様な取り組みを国内に広く発信するとともに、こうした動きを加速化させることを目的として開催されています。

2022年度は環境経営レポート部門71社、ソーシャル部門24社、のべ95社の事業者の応募の中から受賞企業および優良賞（一次審査通過企業）が決定しました。そして、2023年3月25日東京都港区高輪のTKP品川カンファレンスセンターにて、一般財団法人持続性推進機構が主催する「エコアクションオブザイヤー2022」の授賞式が行われました。DINS関西株式会社として合併し、初めての環境経営レポートが「環境経営レポート部門」で銀賞を受賞。またエコアクション21の取り組みの中で、より具体的な取り組みを評価する「ソーシャル部門」でも優良賞を受賞しW受賞となりました。

環境経営レポート2021年度を受賞ポイントは、概要版と詳細版を分けるなど創意工夫を行っており、環境ラリーや環境川柳、さくら満開プロジェクトなどすごく楽しそうに取り組んでいることを評価していただきました。

講評をいただいたように、エコアクション21の取り組みをより一層“楽しみながら”日々の環境活動を怠らず、DINS関西各拠点の事業所全従業員が一丸となって取り組みを行えるように頑張っていきたいと思っております。

DINS関西株式会社

GE事業所

## 環境大臣賞受賞



2022年11月28日に東京都千代田区にある内幸町ホールにて開催された2022年度エコドライブシンポジウム内で、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団が主催する「2022年度エコドライブ活動コンクール」の授賞式が行われ、「環境大臣賞」を受賞いたしました。

## 評価のポイント

## ・エコアクション21委員会を起点とした情報共有の仕組み作り

評価ポイント：活動成果などを効率的に水平展開する仕組みを構築

## ・車両の使用用途別の講習や独自の教育資料を作成

評価ポイント：燃費改善につながる工夫を凝らしたエコドライブ活動

## ・細やかな燃費分析や燃費計で取組を活性化

評価ポイント：徹底した燃費把握で取り組むエコドライブ活動

## ・エコドライブの取り組みが企業全体の環境活動のレベルアップに貢献

評価ポイント：1つの事業所で始めた活動が企業全体に波及

## ★ 事例発表 ★

当日は、受賞企業による事例発表もあり、国土交通省や環境省、名だたる企業の方々が揃う中、皆さん真剣な眼差しで聞いていただく事が出来ました。

GEは保有車両も少なく、目を引くようなシステムや取り組みもありません。しかし、細かな燃費管理や車両整備、従業員への教育などの活動実績を積み上げてきた結果が今回の受賞に結び付いたと思っております。これからも全従業員心を合わせ、環境活動に取り組んでいきます！



エコドライブ活動コンクールHP

<https://www.ecodrive-activity-concours.jp/>

主催：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

## ★ 担当者（山P）のヴォイスオブジョイ ★

DINS関西株式会社 GE事業所は2015年度から毎年応募し、これまで「優良賞」「優秀賞」と着実に上位入賞を果たしてきました。

一般部門の最高位である「環境大臣賞」の壁は厚く、ここ数年は優秀賞や優秀活動認定止まりでありましたが、それでも私たちは日々エコドライブ活動に魂を注ぎ込み…（以下、熱く長いコメントは省略）そして！2022年度のコンクールにて悲願の「環境大臣賞」を受賞する事が出来ました！！



エコアクション21を通して、全従業員で力を合わせて取り組みを行った結果がこのような形になり、評価していただいたことを大変光栄に思います。引き続きエコドライブ活動をPDCAサイクルで継続的發展をし、更なる進化を目指したいと思っております！！

P 計画

環境経営目標

社有車の経済的運転により、二酸化炭素排出量を削減する

給油量・走行距離を記録し、燃費データを蓄積する

従業員対象に運用方法を教育する

車両を計画的に使用する

燃費計を活用し、従業員の意識向上に繋げる

適切な車両整備を実施する

車両にステッカーを表示し、従業員の意識啓発を行う

フルトレーラの適正な運用を行い、運搬コストの削減に努める

D 実行



大型車エコドライブ運転の教育



適切な車両整備



燃費計の活用



ステッカーの表示



安全教育



フルトレーラ運用の確立

C 評価

社有車の燃費 (原単位管理: km/L)

対象車


目標値

実績

達成率

ガソリン (普通車) ・2015年度実績値【13.62km/L】より 3.5%向上  
**14.10km/L 以上 ▶ 15.00km/L**  106%

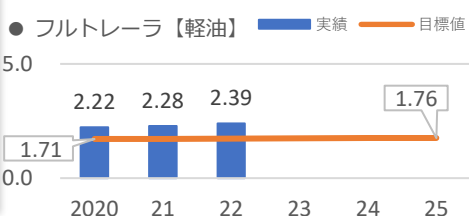
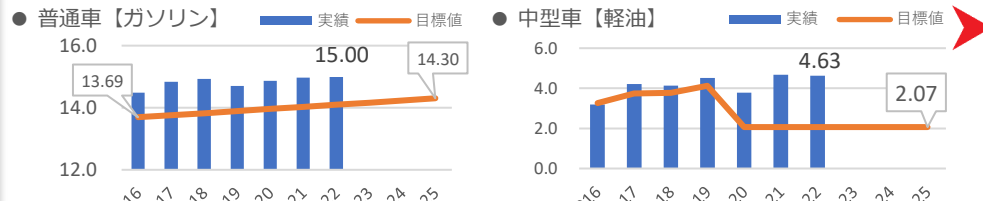
走行距離: 12,456km/総使用量: 830.6L CO<sub>2</sub>排出係数: 2.32 【CO<sub>2</sub>排出量: 1,927kg - CO<sub>2</sub> / L】

軽油 (中型車) ・2020年度4月平均燃費【2.07km/L】維持  
**2.07km/L 以上 ▶ 4.63km/L**  223%

走行距離: 1,580km/総使用量: 341.5L CO<sub>2</sub>排出係数: 2.58 【CO<sub>2</sub>排出量: 881.07kg - CO<sub>2</sub> / L】

軽油 (フルトレーラ) ・2018年度実績値【1.70km/L】1.5%向上  
**1.73km/L 以上 ▶ 2.39km/L**  138%

走行距離: 99,572km/総使用量: 41,730L CO<sub>2</sub>排出係数: 2.58 【CO<sub>2</sub>排出量: 107663.4kg - CO<sub>2</sub> / L】



A 改善

【達成要因】

適正な車両整備・運行管理・エコドライブの意識ができており、普通・中型・大型とも目標値を達成することが出来ました。特に普通車は様々な従業員が運転するので、今後も継続的なエコドライブ教育を行ってまいります。

2019年に導入したフルトレーラ車は、それまでに使用していた10tコンテナ車と比較して、2倍の運搬量です。導入前の10tコンテナ車の燃費は【3.1km/ℓ (2019年度実績)】でフルトレーラ導入後は【2.2km/ℓ (2020年度実績)】に低下、しかし、2倍の運搬量を燃費に換算すると、【4.4km/ℓ で約40%の燃費向上】となりました。また、2022年度の実績値【2.39 km/ℓ】から換算すると、【4.78 km/ℓ、約54%の燃費向上】となりました。次年度も引き続き良い結果が出るように努めます。

【所属長コメント】

2022年度はこれまでのエコドライブ活動の内容・成果が評価され、エコドライブ活動コンクールで環境大臣賞を受賞することが出来ました。保有台数も少なく、活動内容に目新しく、目立つものはありませんが長期間にわたり、必要なことを堅実に続けてきた成果だと考えています。今後はRAC事業所のエコドライブ活動等、DINS関西全体で連携し、より充実した活動を行っていくことが課題です。

2023年度の計画 Pへ

2022年度の取り組み項目を継続し、DINS関西全体で連携しより充実したエコドライブ活動を目指します!

# 【GE事業所】サーマルリサイクル課 ガソリン使用量の削減

**P** 環境経営目標  
ガソリン使用量削減により、二酸化炭素排出量を削減する

- 重機類の経済的運転を実施する
- 重機類のメンテナンス、点検を計画的に実施する
- 新規判定時に作業効率の良い荷姿の提案、処理方法を提案する
- 電動溶接機の使用を優先する

## **C** Check ガソリン使用量 (総量管理 : L)



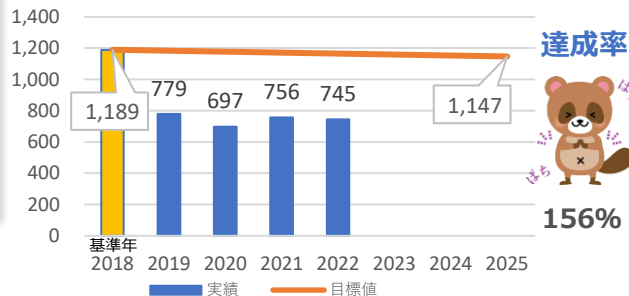
エンジン溶接機/電気溶接機



計画的な運用

・2018年度実績値【1,189L】より 2.0%削減  
**目標値 1,165L 以下 ▶ 実績 745L**

CO<sub>2</sub>排出係数 : 2.32  
 【CO<sub>2</sub>排出量 : 1,728kg - CO<sub>2</sub>/L】



### 【担当者コメント】

#### 【達成要因】

5月にフォークリフトの運用方法が変更となり、使用量の増加が見込まれましたが、目標値を上回るほどのことはなく課題とはなりません。また、溶接機につきましても11月の定修でかなり使用したこともあり、ガソリン使用量が急激な上昇となりましたが、年間を通して目標値を下回っており目標を達成できています。

### 【所属長コメント】

フォークリフト、溶接機ともに低燃費仕様のエンジンでないため、ちょっとした使い方の違いで燃費が大きく変わってきます。今回、年間を通して使用量自体が増加傾向になった中で、燃費での管理では大きく変動が無く、使い方自体が良かったからだと感じます。効率の良い運転方法は全従業員が同じように対応できるよう周知と教育を行ってください。

### 2023年度の計画 **P**へ

2022年度の取り組み項目を継続して行う

# 【GE事業所】サーマルリサイクル課 軽油使用量の削減

**P** 環境経営目標  
軽油使用量削減により、二酸化炭素排出量を削減する

- 社有車・重機のアイドリングストップを実施する
- 社有車・重機のメンテナンス、点検を計画的に実施する
- 場外を走る社有車については、エコドライブ励行の表示をする
- 10t車の荷作り作業におけるフカシ運転を抑制する

## **C** Check 軽油使用量 (原単位管理 : L/台)



場内車(10t コンテナ車)

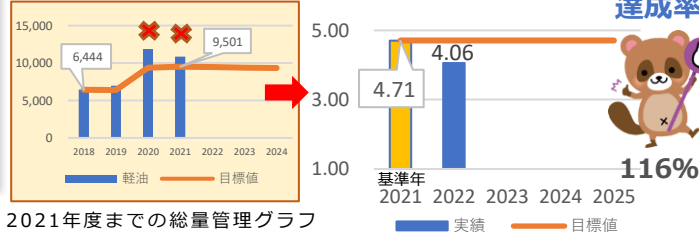


エコドライブ励行の表示

・2021年度実績値より算出【4.71L/台】維持  
**目標値 4.71L/台 維持 ▶ 実績 4.06L/台**

使用量 : 7,169L / コンテナ搬出台数 : 1,765台  
 CO<sub>2</sub>排出係数 : 2.58 【CO<sub>2</sub>排出量 : 18496kg - CO<sub>2</sub>/L】

2022年度までの総量管理から原単位管理で見直し!



2021年度までの総量管理グラフ

### 【担当者コメント】

#### 【達成要因】

2020年度に場内車を場外へ使用する運用変更があり、2年連続で未達成となったことから、新しく目標値を総量管理から原単位管理へ本年度から運用変更をしました。軽油使用量をコンテナ運搬数から算出した目標値を採用しました。7月度からミニコンボの運用が加わり、動向を確認していましたが、目立った未達成も少なく、こまめなアイドリングストップや作業の効率化で達成できたと思います。来期からミニコンボの稼働も増える予定となっており、リフトもMCFから軽油に燃料が切替わりますので、今期の使用量や使用量の予測等試行錯誤しながら、目標を達成できるように頑張ります!

### 【所属長コメント】

場内車を取り扱う一人一人の心掛け一つで、使用量は増えたり減ったりします。利用する全員が同じ意識で取り扱えるように表示の見直しやルールの再周知、また、業者等の外部からの取扱者へは教育を徹底して行い、継続して達成できるように努めていくようにしてください。

### 2023年度の計画 **P**へ

2022年度の取り組み項目を継続し、  
 全員が同じ意識で取り扱えるように周知・教育の徹底を!!

# 【GE事業所】マテリアルリサイクル課 軽油(GTL)使用量の削減

**P** 環境経営目標  
重機の経済的運転により、二酸化炭素排出量を削減する

オペレーターに使用量を把握させ、エコドライブ運転を行う

重機・車輛のメンテナンス、点検を計画的に実施する

**D** GTL燃料使用車(場内車)



4tコンテナ車



2tパッカー車

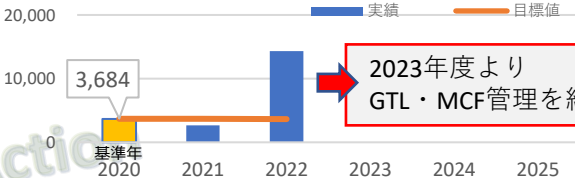
GTL燃料とは…  
GTL燃料は環境負荷の少ないク  
リーンな天然ガス由来の軽油代替  
燃料で、軽油対比でCO<sub>2</sub>排出量を  
8.5%削減することが出来ます。

**C** GTL燃料使用量 (総量管理 : L)

・2020年度実績値【3,684L】より 1.0%削減

目標値 3,647L 以下 ▶ 実績値 14,333L

CO<sub>2</sub>排出係数 : 2.58 (軽油) 【CO<sub>2</sub>排出量 : 36979kg - CO<sub>2</sub>/L】



2023年度より  
GTL・MCF管理を終了し全量軽油管理へ変更

達成率



25%

【未達成要因】

世界情勢により、9月からGTL燃料(天然ガス由来の代替燃料)の価格が高騰し、経営の運用変更を余儀なくされました。現在使用している場内車は軽油管理へ変更とし、GTL管理を8月末をもって終了としました。また、重機の入れ替えも重なった事で重油(MCF)管理の重機も全て軽油管理に移行したことにより、軽油の使用量が大幅に多くなり未達成となっております。次年度はGTLから軽油に変更となりましたが、引き続きエコ運転を心掛け、使用量の把握をするように呼び掛けていきます。

【担当者コメント】

作業現場での重機・車輛の省エネ運転はリーダーの声掛け指導の成果により、各重機オペレーターに根付いております。GTL燃料は環境負荷低減を謳っていた為、二酸化炭素排出量の抑制に貢献できる燃料で期待をしておりました。しかしながら、昨今の不安定な社会情勢の影響を受け、原油価格が上昇しました。GTL・MCFも共に価格が上昇した為、利用することを断念しました。今後は軽油のみの使用となりますので、重機の運用方法を含め搬入受入計画を見直し、更に効率の良い運営に努めます。

2023年度の計画 Pへ

GTL管理は重油管理と共に軽油管理に切り替え一本化し、新たに目標値を再設定する。

# 【GE事業所】マテリアルリサイクル課 重油(MCF)使用量の削減

**P** 環境経営目標  
重機の経済的運転により、二酸化炭素排出量を削減する

搬入物に合わせた効率の良い選別方法を常に選択できるよう教育、指導する

重機類のメンテナンス、点検を計画的に実施する

オペレーターに使用量を把握させ、エコドライブ運転を行う



効率の良い重機運転



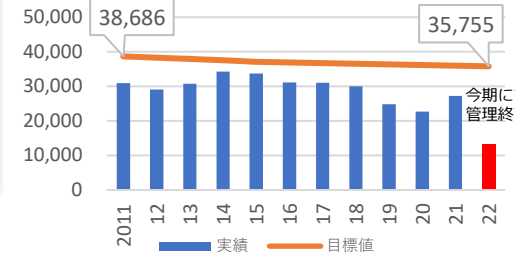
重機の点検・メンテナンス

**C** 重油 (MCF) 使用量 (総量管理 : L)  
目標値 実績値

・2009年度実績値【39,376L】より 8.5%削減

36,029L 以下 ▶ 13,065L

CO<sub>2</sub>排出係数 : 2.71  
【CO<sub>2</sub>排出量 : 35,408kg - CO<sub>2</sub>/L】



達成率



275%

【担当者コメント】

【達成要因】

重機の入れ替えにより、重油(MCF)から軽油に変更した事が目標値の大きな達成要因となりました。この大きな要因である重機入替を別として評価すると、今期は搬入量が増えています。重機選別を要する廃棄物が少なかった為、目標値を達成できた要因となります。また、毎週給油量をオペレーターに伝え、効率よく運転し重機選別作業をできるように意識してもらった事で使用燃料を抑える事ができました。今期をもって重油管理は終了となりますが、引き続きエコ運転を心掛け運用します。

【所属長コメント】

2023年度の計画 Pへ

2022年度をもって重油管理は全量軽油管理へ移行し終了とする。

【GE事業所】サーマルリサイクル課  
重油使用量の削減

環境経営目標

重油使用量削減により、二酸化炭素排出量を削減する

ピット内の廃棄物ミキシングによる燃焼の安定化を図る

稼働計画に基づいた焼却炉の運用に努める

温度低下時に伴う焼却運転方法の周知と対応

助燃として廃油の効率の良い処理を促進する

重油使用量（総量管理：L）  
目標値 実績

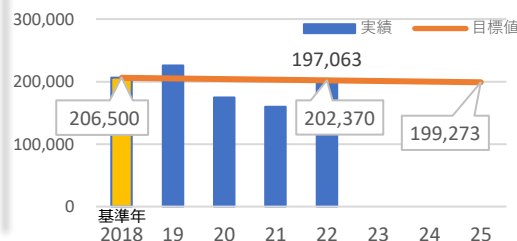
・2018年度実績値【206,500L】より 2.0%削減

202,370L 以下 ▶ 197,063L

CO<sub>2</sub>排出係数：2.71 【CO<sub>2</sub>排出量：534,041kg-CO<sub>2</sub>/L】



廃棄物のミキシング



達成率



103%

【担当者コメント】

【達成要因】

今期の月単位での目標未達成は5回となりました。主な原因として、

- ・1号炉の設備トラブルによる立ち下げ
- ・2号炉のクリンカ生成発電量低下による休炉作業の日程変更
- ・目標値設定に耐火補修時間を設定していなかった

助燃使用量では2号炉のクリンカ生成により助燃状況の悪化時に増加しています。廃油使用量は7月に搬入量確保が困難となり、8月には引継ぎ不足の為、未処理となりました。設備のトラブルに関しては、点検と予備品確保の充実を図っていきます。また、目標値と年間稼働計画の設定に耐火工事内容とクリンカ生成状況を反映し、適正な運用を周知していきます。

【所属長コメント】

重油の使用量は耐火材の補修環境によって大きく左右される部分がありますが、日常の温度低下やトラブルによる不要な使用については徐々に改善されて効果が出てきているように思われます。引き続き運転・安全管理に注力し安定稼働へ繋げていくことと、廃油を有効活用し温度低下を未然に防いだ運用を心掛けていきます。

2023年度の計画 Pへ

2022年度の取り組み項目を継続して行う

【GE事業所】総務課・計量課  
ガス使用量の削減

環境経営目標

ガス使用量削減により、二酸化炭素排出量を削減する

浴槽への蓋運用を継続し、保温効果を上げる

お湯の設定温度を45℃以下に定め、運用する

ガス使用量（総量管理：kg）  
目標値 実績

・2006年度実績値【4,343kg】より 16%削減

3,684kg 以下 ▶ 1,815kg

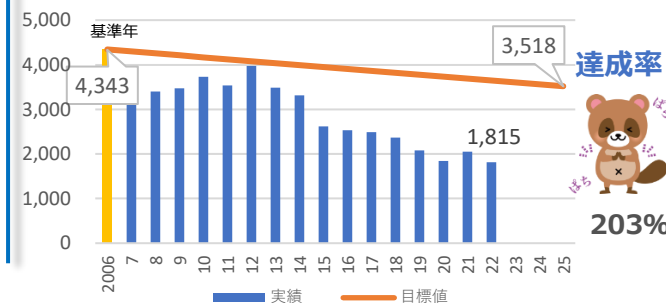
CO<sub>2</sub>排出係数：3.0 【CO<sub>2</sub>排出量：5,447kg-CO<sub>2</sub>/L】



従業員用風呂蓋



45℃以下での管理



達成率



203%

【担当者コメント】

【達成要因】

2006年から運用を開始し、17年目の取り組みとなりました。2022年度は前年度と比較して約10%の使用量削減ができました。ガス使用量の大半を占める浴槽ですが、設定温度や保温蓋の運用がしっかりできており、使用量を抑える事ができました。利用人数は前年度とほぼ同数ですが、平均気温が前年度より高い月が多かったことも要因となり、使用量減少へと繋がりました。

【所属長コメント】

ガス使用の大半を占める従業員用風呂ですが、ルールも良く守られ、目標も大きく達成できております。皆がルールを守りながら気持ちよく利用出来るように引き続き啓発をお願いいたします。

2023年度の計画 Pへ

2022年度の取り組み項目を継続して行う



# 【GE事業所】サーマルリサイクル課 電力量の削減

## P Plan

### 環境経営目標

購入電力量の削減により、二酸化炭素排出量を削減する

継続安定した焼却発電の維持  
(安定した燃焼管理、稼働計画に基づいた焼却炉の運用)

2号炉ボイラーの安定化に向けた設備改善  
(ブロー方法の見直し、スケール抑制に向けた取り組み)

部署内の節電対応 (エアコン温度管理 夏25℃以上・冬23℃以下など)  
照明の消し忘れ、PC管理、ライトダウンキャンペーン

省エネに向けた設備改善への取り組み  
(照明のLED化 汚泥排風機のINV化)

## D Do



焼却炉燃焼管理



発電設備の点検



汚泥排風機INV化



エアコンの温度管理



ライトダウンキャンペーン



照明の間引き

## 購入電力量の削減 (総量管理 : kWh)

目標値

実績

・2011年度実績値【5,321,660kWh】より 10%削減し、  
1号炉発電増加分 471,200kWh を差し引き

**4,318,294kWh 以下** ▶ **3,095,910kWh**

CO<sub>2</sub>排出係数 : 0.334 【CO<sub>2</sub>排出量 : 1,034,034kg - CO<sub>2</sub>/L】

達成率



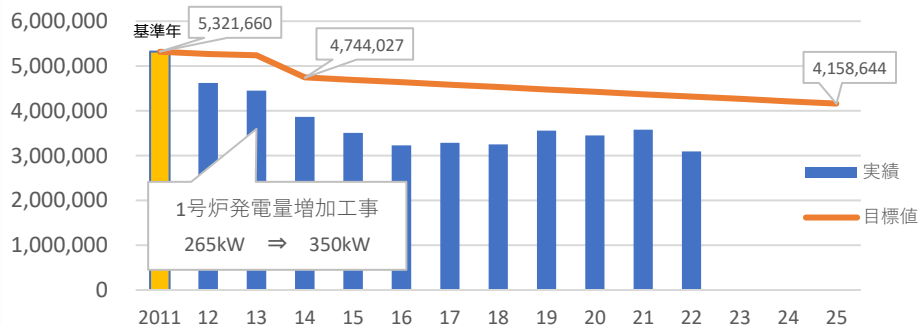
139%



1号炉発電機  
発電能力 : 350kW



2号炉発電機  
発電能力 : 500kW



## A Action

### 【担当者コメント】

#### 【達成要因】

2011年度から取り組みを始め、2013年度に焼却1号炉の発電設備の容量を265kWから350kWへ大きくする工事を実施しました。2014年度以降の目標値は1%/年の削減に加え、1号炉発電量の増加分【471,200kWh】を目標値から差し引きしています。2022年度の取り組み内容といたしましては、目標項目は年間を通して周知、確認ができました。設備改善に関してはLED化が主でしたが計画通り達成しました。上半期では稼働日数、1号発電量が未達の月もありましたが、下半期は定期修理の日程、工程の見直し及び短縮により稼働日数、発電量ともに改善しました。また、発電量に関しては定期的なボイラーエアブローの実施、中央監視の強化により増加したと感じています。来期も継続して達成を目指します。

### 【所属長コメント】

省エネ活動にも大きく影響を与える発電量について、安定して供給出来るように、動向の監視強化を行い発電量の定格維持に努めてください。また、耐火材などの選定を的確に行う事と、クリンカ付着の抑制に向けた設備改善を積極的に取り組んでいくようにお願いします。

## 2023年度の計画 Pへ

2022年度の取り組みを継続して行う

# 【RAC事業所】業務三課 軽油使用量の削減

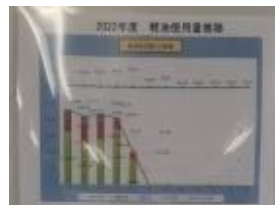
P

## 環境経営目標

軽油使用車両の経済的運転により、  
軽油使用量を削減し二酸化炭素排出量を削減する

- 各車両の燃料使用量・燃費などが見える化し周知する
- 横乗り運転を実施しエコ運転教育と評価する 1名/月以上
- デジタコグラフの100点取得の見える化で周知する
- スピードオーバーの見える化で速度及びエンジン回転を周知する
- 実車率55%以上を目標とする

D



使用量の見える化



エコ運転教育

4月 デジタコ100点割合

部署	100点取得率
第一課	100%
第二課	100%
第三課	100%
第四課	100%
第五課	100%
第六課	100%
第七課	100%
第八課	100%
第九課	100%
第十課	100%
第十一課	100%
第十二課	100%
第十三課	100%
第十四課	100%
第十五課	100%
第十六課	100%
第十七課	100%
第十八課	100%
第十九課	100%
第二十課	100%
第二十一課	100%
第二十二課	100%
第二十三課	100%
第二十四課	100%
第二十五課	100%
第二十六課	100%
第二十七課	100%
第二十八課	100%
第二十九課	100%
第三十課	100%
第三十一課	100%
第三十二課	100%
第三十三課	100%
第三十四課	100%
第三十五課	100%
第三十六課	100%
第三十七課	100%
第三十八課	100%
第三十九課	100%
第四十課	100%
第四十一課	100%
第四十二課	100%
第四十三課	100%
第四十四課	100%
第四十五課	100%
第四十六課	100%
第四十七課	100%
第四十八課	100%
第四十九課	100%
第五十課	100%
第五十一課	100%
第五十二課	100%
第五十三課	100%
第五十四課	100%
第五十五課	100%
第五十六課	100%
第五十七課	100%
第五十八課	100%
第五十九課	100%
第六十課	100%
第六十一課	100%
第六十二課	100%
第六十三課	100%
第六十四課	100%
第六十五課	100%
第六十六課	100%
第六十七課	100%
第六十八課	100%
第六十九課	100%
第七十課	100%
第七十一課	100%
第七十二課	100%
第七十三課	100%
第七十四課	100%
第七十五課	100%
第七十六課	100%
第七十七課	100%
第七十八課	100%
第七十九課	100%
第八十課	100%
第八十一課	100%
第八十二課	100%
第八十三課	100%
第八十四課	100%
第八十五課	100%
第八十六課	100%
第八十七課	100%
第八十八課	100%
第八十九課	100%
第九十課	100%
第九十一課	100%
第九十二課	100%
第九十三課	100%
第九十四課	100%
第九十五課	100%
第九十六課	100%
第九十七課	100%
第九十八課	100%
第九十九課	100%
第一百課	100%

デジタコ100点

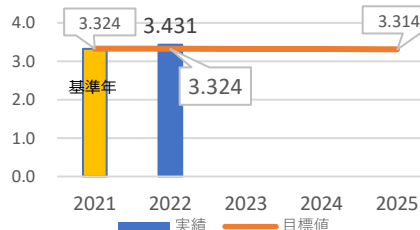
C

## 軽油使用量（原単位管理：km/L）

目標値 実績 達成率

・2021年実績【3.327L/t】より 0.1%削減  
**3.324 L/t 以下 ▶ 3.431 L/t**

給油量：254,670L / 運搬量：83,774 t  
CO<sub>2</sub>排出係数：2.58  
【CO<sub>2</sub>排出量：657,049kg - CO<sub>2</sub>/L】



・目標値について  
エコアクション21の開始当初より収集運搬車両の保有台数が増加したことから、総量管理が難しくなり、2020年度から燃費管理に変更しましたが、**より経営に近づく目標値へと変更**する為、2022年度からは運搬量を原単位とした目標値を設定しました。



97%

RAC事業所	・25 t ダンプ車 8台	・25 t ベッセル車 5台	
収集運搬車両	・25 t キャブオーバー車 2台	・10 t コンテナ車 3台	
	・4 t コンテナ車 3台	・ジェットバック 1台	合計22台

### 乗務員点呼所ですべての管理を行っております。

ここでは始業・終業点呼を乗務員と管理者により対面で実施し、乗務員の健康状態、車両の日常点検結果・業務内容などを報告・確認をしています。また【軽油使用量の削減】の取り組み事項についても掲示物を用いて、進捗状況などを日々対話しております。管理者だけが意識して取り組んでも、良い結果に繋がらない為、乗務員に興味を持ってもらえるように、様々な事項について掲示を実施しています。



乗務員点呼所

A

### 【担当者コメント】

#### 【未達成要因】

今年度より新たに設定した目標数値として、原単位に運搬量を取り込んだ運用を開始しました。前期の実績を基に取り決めた目標値となりますが、目標値を達成する事ができませんでした。未達成理由といたしましては、1台当たりの搬出量より燃料の使用量と燃費が低かった為です。月時評価・累計評価共に未達成の月が多くありましたので、2023年度の目標値は見直しを行います。

### 【所属長コメント】

各車両の燃費使用量・燃費の見える化に関しては、滞る事なく掲示できており評価します。しかし、各乗務員へのエコ運転に関する声掛けに、物足りなさを感じます。横乗り運転については、運転技術とエコ運転を含めて指導できています。デジタコの見える化も出来てはいますが、掲示物の見える化と共に継続した指示・指導をお願いします。実車率については、今まで以上にグループと意思疎通を図り進める事が必要です。2023年度については、目標値を変更し新たな取り組みとします。各項目が達成できるように尽力してください。

### 2023年度の計画 P

- ・2022年度の取り組みを継続し、目標値の再設定を行う

## 【RAC事業所】総務課 ガソリン使用量の削減

- P 環境経営目標**  
ガソリン車の経済的運転により、二酸化炭素排出量を削減する
- 給油量、走行距離を記録し燃料消費データを蓄積し、掲示、回覧する
- 5,000km毎にオイル交換（10,000km毎にエレメント交換）を徹底する
- エコドライブに関する教育を実施する（年1回実施）

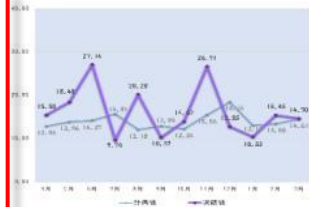
## D 二酸化炭素排出量削減

### C Check

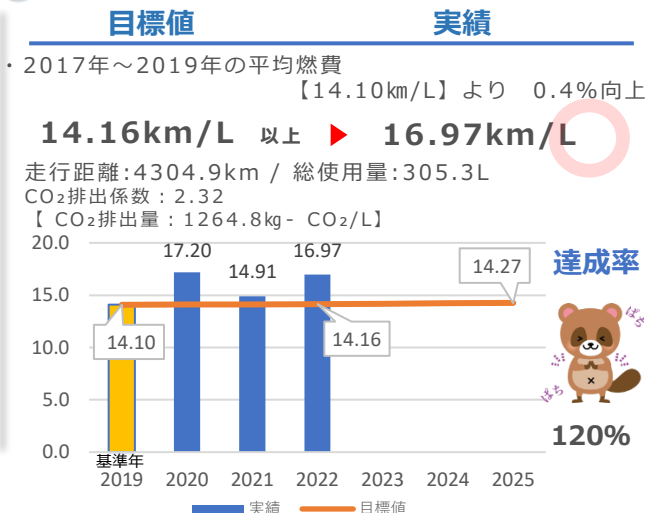
#### ガソリン使用量（原単位管理：km/L）



エコドライブ教育



月単位での燃費推移の掲示



#### 【担当者コメント】

【達成要因】  
2022年度目の目標値14.16km/ℓに対し、実績は16.97km/ℓとなり、目標値を達成することが出来ました。年間で未達月が5カ月と多くありましたが、エコドライブの意識付けにより、目標を達成することが出来ました。今後も引き続きエコドライブを継続するよう周知しCO<sub>2</sub>排出量を削減していきます。

#### 【所属長コメント】

対象車両が少ない中で、継続的にエコドライブ活動を実施し燃費の監視を続けることで目標を達成することが出来ました、引き続き、エコドライブ活動を継続し、計画的な車両貸出など燃費向上に努めてください。

#### 2023年度の計画 Pへ

2022年度取り組み項目を継続して行い、下記項目を目標に追加  
・ポスター等の掲示物によるエコドライブの周知

## 【RAC事業所】業務一課 軽油使用量の削減

- P 環境経営目標**  
軽油使用車両の経済的運転により、軽油使用量を削減し二酸化炭素排出量を削減する
- 燃料使用量の確認と記録を行い、掲示で周知する
- 燃料使用量を抑えるような作業や運転を行う
- アクセルワークを気を付けて作業を行う

## D 二酸化炭素排出量削減

### C Check

#### 軽油使用量（原単位管理：L/t）



燃料使用量の抑制  
(ディスカッション)



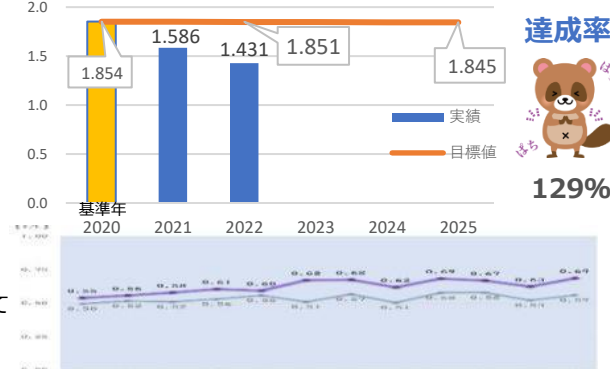
掲示による周知削減

燃費推移を毎月更新して  
掲示しています！ →

2018年度～2020年度平均  
【1,854L/t】より 0.2%削減

**1.851L/t 以下 ▶ 1.431L/t**

総使用量: 177,308L / 搬入量: 95,616 t  
CO<sub>2</sub>排出係数: 2.36  
【CO<sub>2</sub>排出量: 368,413kg - CO<sub>2</sub>/L】



#### 【担当者コメント】

【達成要因】  
今年度はミーティングで環境経営計画の報告を行い、従業員に内容を周知できるように変更しました。年間を通して周知の効果はあったように感じており、次年度も継続していきたいと思っています。

#### 【所属長コメント】

2022年度は余裕を持って達成できています。全員でミーティング及び掲示物を貼り周知できた結果です。来期も達成に向け、全員に周知していくと共に運転操作の統一化も図っていきます。

#### 2023年度の計画 Pへ

2022年度取り組み項目を継続して行い、下記項目を目標に追加  
・M & J 破碎機の燃料使用量と稼働時間の記録を行う

## 【RAC事業所】業務一課・保全 電気使用量の削減

**P** **環境経営目標**  
電気使用量削減により、二酸化炭素排出量を削減する

2次手選別周辺LED化 16カ所交換

電気使用量の見える化を図り、従業員の節電等意識向上を行う

不要な設備、照明をこまめにOFF

2軸破碎機、スカラベ梱包機の使用電力量を調査

**D** **Check**  
**電気使用量（原単位管理：kWh/t）**

・2019年度実績【25.23kWh/t】より  
0.2%削減

**目標値** 25.18 kWh/t 以下

**実績** 8.52 kWh/t

使用電力量：881,591kWh /  
廃棄物処理量：103,417 t  
CO<sub>2</sub>排出係数：0.334  
【CO<sub>2</sub>排出量：294,451kg - CO<sub>2</sub>/L】

**達成率**



296%

2021年7月よりプラント改修工事が始まり目標値を設定することが難しくなりました。2022年度は新たに目標値を設定し運用を開始しました。



LED化



見える化

勉強会

**A** **Action**  
**【担当者コメント】**

【達成要因】

2次手選別ラインを水銀灯からLED照明へ16カ所交換した事で照度も増し、尚且つ1時間当たりの電気使用量4.77kWh削減することが出来ました。不必要な照明をこまめに消す事を継続して呼び掛けし実施する事で従業員の節電意識の向上を図っていきます。

**【所属長コメント】**

今期の計画はプラント復旧の都合から本来の処理工程とは違う形での運営が進められました。本体ラインを使用しない処理は初めての事で、まずは事業所全体電気使用量に対し処理量での原単位を算出しました。更には本体プラント以外でも処理過程において要となる2つの破碎・梱包ラインの電気使用量を記録し処理工程での節電工夫を調査する目的としました。来期は本体プラント稼働と追加されたM&J破碎・梱包全ての合算電気使用量を基に処理対象物を絞った形での原単位算出と節電工夫の調査を実施します。これらの調査を精査する事で、次期には計画をどこに定めるかが焦点となります。難しい課題ではありますが、取り組みれば使用量削減は大いに期待できます。

2023年度の計画 **P** へ

2022年度の取り組み項目を継続して行う

## 【BE事業所】総務課 ガソリン使用量の削減

**P** **環境経営目標**  
ガソリン車の経済的運転により、二酸化炭素排出量を削減する

給油量、走行距離を記録し燃料消費データを蓄積し、掲示・回覧する

5,000km毎にオイル交換（10,000km毎にエレメント交換）を徹底する

エコドライブ教育を実施する

**D** **Check**  
**ガソリン使用量（原単位管理：km/L）**

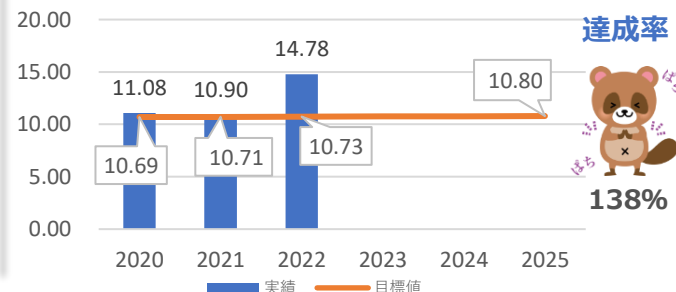
**目標値**

**実績値**

・2017～2019年平均燃費【10.69km/t】より 0.4%向上

**10.73km/L** 以上 ▶ **14.78km/L**

走行距離：10,364km / 総使用量：701.2L  
CO<sub>2</sub>排出係数：2.32  
【CO<sub>2</sub>排出量：1626.9kg - CO<sub>2</sub>/L】



**達成率**



138%



オイル交換

**A** **Action**  
**【担当者コメント】**

【達成要因】

年間を通して目標値は大きく上回る事が出来ました。しかしながら、月単位で見ると社有車の買い替えがあった事もあり、月次での評価が3回未達成となった月があった為、この原因を踏まえて次年度は使用頻度、給油のタイミング、無駄な荷物が無いかなど、意識を高めていきたいと思えます。

**【所属長コメント】**

給油のタイミングのずれなどで未達の月が3回あります。コロナ禍で社有車の使用頻度が少なくなり、月末に燃料を入れる事になっているが、給油の為に外出している様な時もあるように思います。燃料把握を2か月に1回にするなどの運用変更も検討する時期に来ています。エコ運転が定着する様に引き続き教育をお願いいたします。

2023年度の計画 **P** へ

2022年度の取り組み項目を継続して行う

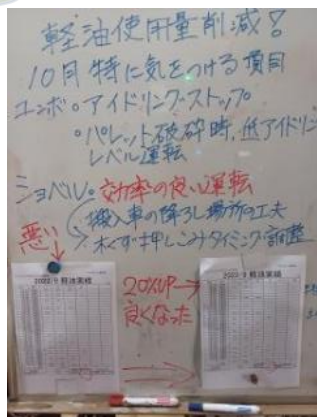
## 【BE事業所】チップ製造課 軽油使用量の削減

## 【BE事業所】総務課 使用電力量の削減

### 環境経営目標

軽油使用車両の経済的運転により、  
軽油使用量を削減し二酸化炭素排出量を削減する

エンジン回転数を必要以上に上げないことで燃費向上に努める  
運転状況等の見える化を行い、エコ運転を促す



掲示板による周知

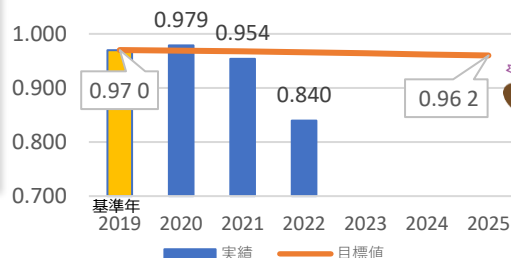
### Check 軽油使用量 (原単位管理: L/t)

目標値 実績

・2019年度実績【0.970L/t】より 0.2%削減

**0.968L/t** 以下 ▶ **0.844L/t**

給油量: 24492.6L / 搬入量: 29012.0L  
CO<sub>2</sub>排出係数: 2.36  
【CO<sub>2</sub>排出量: 68,468kg - CO<sub>2</sub>/L】



達成率

115%

### 【担当者コメント】

【達成要因】  
2022年度は8月に1度だけ目標未達成となりました。1度だけの未達成ですが、未達成原因を課員全員で話し合う事により、課員のエコ意識が自然と芽生えさせ、重機の運転方法を見直しました。燃料使用量削減に繋がるように、荷下ろし方法の工夫を行ってしまい、9月以降はすべて達成する事が出来ました。次年度も課員全員が高い意識を持ち続けるように取り組みます。

### 【所属長コメント】

8月度に目標未達成となりましたが、連続しての未達成は無く、課員に軽油使用量削減を周知徹底できたと評価できます。来期は木くず搬入量が増加され、業務方と予測できますので今期以上に業務と環境活動の両立をお願いいたします。

### 2023年度の計画 Pへ

2022年度の取り組み項目を継続して行う

### 環境経営目標

電気使用量削減により、二酸化炭素排出量を削減する

省エネ推進

電気使用量の見える化を図り、従業員の節電等の意識向上を行う  
省エネ法定定期報告書、中長期計画提出



照明のLED化



スチームトラップ更新



保温更新

達成率



99.2%

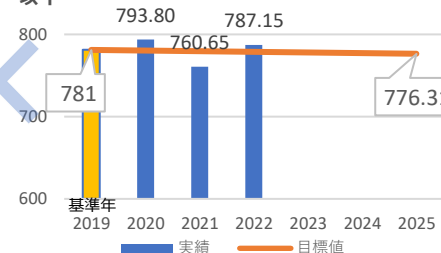
### Check 電気使用量 (原単位管理: kWh/hr)

・2019年度実績【781.0 kWh/hr】より 0.3%削減

目標値 **778.66kWh/hr** 以下

実績値 **787.15kWh/hr**

使用電力量: 5,982,310kWh /  
ボイラー稼働時間: 7,532hr  
CO<sub>2</sub>排出係数: 0.334  
【CO<sub>2</sub>排出量: 1,998,092kg - CO<sub>2</sub>/L】



### 【担当者コメント】

【未達成要因】  
ボイラー設備のスチームトラップの不具合が解消され、無駄に捨てていた蒸気が少なくなり、発電効率が上がりました。濃縮設備のLED化は今期見送りしました。今後も継続的に省エネに取り組みます。

### 【所属長コメント】

今後はスチームトラップの定期点検をするなどで不具合を早期に発見する様をお願いいたします。節電の呼び掛け、節電パトロールなどの取り組みも実施をお願いします。

### 2023年度の計画 Pへ

2022年度の取り組み項目を継続して行う

## 【GA関西】 軽油使用量の削減

### 環境経営目標

軽油使用重機の経済的運転により  
軽油使用量を削減し、二酸化炭素排出量を削減する

適切な作業、操作を行い燃料使用量を抑制する

燃料使用量を重機オペレーターに周知し削減を意識させる

必要に応じてエコノミーモードを使用し、燃料使用量を削減する



適切な作業操作



エコ運転教育



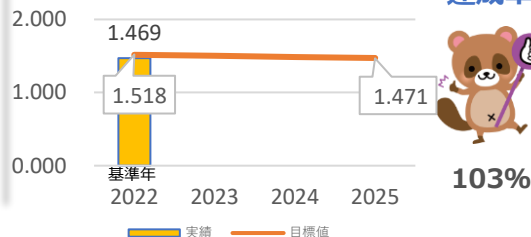
掲示による使用量の見える化

### C Check 軽油使用量（原単位管理：L/t）

目標値	実績
1.518L/t 以下	1.469 L/t

・2022年度（11月～1月）実績  
【1.533L/t】より1.0%削減  
給油量：21,830L / 搬出量：14,862t  
CO<sub>2</sub>排出係数：2.36  
【CO<sub>2</sub>排出量：51518.8kg - CO<sub>2</sub>/L】

達成率



103%

### 【担当者コメント】

#### 【達成要因】

軽油使用量原単位である搬出量に直結する、油圧ショベルでの前処理破碎を確実に実施する事が目標達成の主因となりました。油圧ショベルで石膏ボードを細かくすることで後工程の仕事量は確実に減少します。原単位の維持向上に必要な方策は周知の事実と捉え、今後も目標達成を目指します。

#### 【所属長コメント】

新規メンバーの技量向上により、後期にかけて原単位は良好な状態となりましたが、新規メンバー加入に伴う作業効率の悪化が懸念されます。新規メンバーに効率的な作業を教育することで原単位の維持向上に繋がります。適切な教育を実施し、来期も目標達成を目指してください。

### 2023年度の計画 Pへ

2022年度の取り組み項目を継続して行う

## 【GA関西】 使用電力量削減

### 環境経営目標

電気使用量削減により、二酸化炭素排出量を削減する

効率的なプラントの稼働を行い使用量を削減する

不要な設備、照明をこまめにOFF



効率的なプラントの稼働



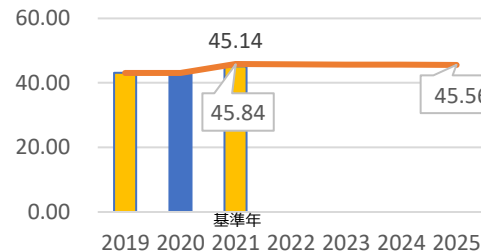
こまめな照明OFF

### C Check 使用電力量の削減（原単位管理：kWh/t）

目標値	実績
45.70 kWh/t 以下	47.39kWh/t

・2021年度実績値【45.84kWh/t】より 0.3%削減  
使用量電力量：704,260t / 搬出量：14,862t  
CO<sub>2</sub>排出係数：0.334  
【CO<sub>2</sub>排出量：235,223kg - CO<sub>2</sub>/L】

達成率



96%

### 【担当者コメント】

#### 【未達成要因】

設備改善を行い、無負荷運転を低減することで上半期は累計目標を達成していましたが、下半期に照明の点灯カ所が増加したこと、時間当たりの処理量が低下したことで原単位が増加した結果、累計目標が未達成となった。原因は明確なので改善を行います。

#### 【所属長コメント】

設備改善を行ったことで処理機械側は原単位にとって良好な状態となりましたが、人員の減少と変更に伴う作業効率の悪化が、時間当たりの処理量低下と原単位の増加に繋がった。新規メンバーに効率的な作業を教育することで原因が解消でき原単位の減少に繋がるので実施し、来期は目標達成を目指してください。

### 2023年度の計画 Pへ

2022年度の取り組み項目を継続して行う

【GE事業所】サーマルリサイクル課  
**上水使用量削減**

**P** Plan  
 環境経営目標  
 上水の使用量を削減する

浴槽にタイマースイッチを運用し、湯張りの際にあふれ出す水をなくす  
 場内入場者数を記録し、利用に関わる傾向を調査する

水洗トイレのタンク内フロートスイッチの貯水レベルを下げ  
 1回の使用量を減らし、継続的に実施する

浴槽のシャワー元栓を締め、給水量を抑制し、継続的に実施する

上水使用量増加の原因を追究し、対策を講じる

【GE事業所】サーマルリサイクル課  
**工業用水使用量削減**

**P** Plan  
 環境経営目標  
 工業用水の使用量を削減する

エ水タンクの状況に応じた受水量の調整及び  
 オーバーフローの有無を目視で確認する

エ水配管の流量計をもとに、使用量の把握に努める。  
 また、雨水・再利用水の有効活用を継続する

ボイラー熱効率落とさないよう維持し、ガス冷却塔への噴霧量を抑制する

廃液処理の促進及び、脱水施設の再利用水の活用を促進する

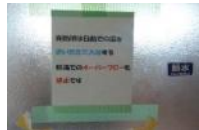
**D** Do  
**C** Check  
 上水使用量 (総量管理 : m3)



タイマースイッチ



節水掲示



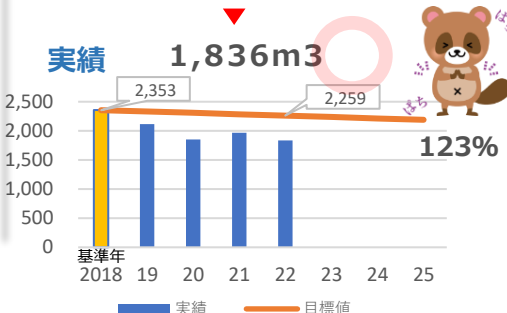
追い炊き禁止



保温用蓋

・2018年度実績【2,353m3】より4.0%削減

目標値 2,259m3 以下 達成率



【担当者コメント】

【達成要因】

風呂利用に関しては、掲示物や節水の呼び掛けにより全体の意識が高まり、自然と節水するようになっていきました。ボイラー水で使用する軟化器の整備後の流量増加に関しては、EA21委員と保全チームで連携を取り、取扱い説明書に基づいて流量調整を行った為に達成出来たと思います。

【所属長コメント】

上水・エ水・散水の使用区分を明確に分けて使用したこと、節水への意識付けが出来たおかげで垂れ流しなどが減ったと思います。引き続き節水へ繋がるように雨水の有効活用や最新の器具などの情報を取り入れて進めてください。

2023年度の計画 **P** へ

2022年度の取り組み項目を継続して行う

**D** Do  
**C** Check  
 工業用水使用量 (総量管理 : m3)



工業用水タンク



飛散防止措置 (工水噴霧)



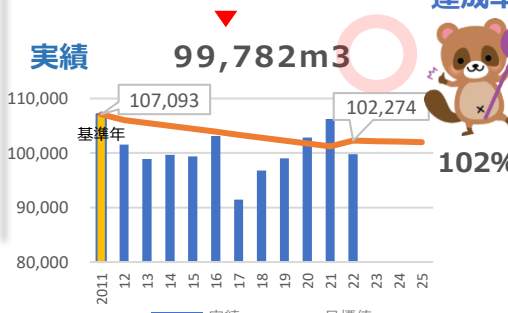
再利用水の有効活用



コンテナ清掃

・2019年度実績【102,274m3】維持

目標値 102,274m3 以下 達成率



【担当者コメント】

【達成要因】

前年度までの工業用水の目標値は、目標値設定時より焼却炉の稼働日数を伸ばしており必然的に超過する状況だったため、再度、目標値の見直しを行いました。上半期は月単位での未達成が多くありましたが、下半期では達成が多くなりました。現場での工業用水使用量削減の意識、雨水の有効活用、脱水処理施設からの二次処理水の有効活用や廃液の搬入量の増加が達成理由として挙げられます。

【所属長コメント】

上水同様に工業用水の使用についても、上水、工業用水、散水の使用区分を明確に分けて使用したこと、節水への意識付けができたおかげで排水での炉温調整やガス冷却水の噴霧を上手に調整出来たと思います。引き続き節水へ繋がるように雨水の有効活用や最新の器具などの情報を取り入れて進めてください。

2023年度の計画 **P** へ

2022年度の取り組み項目を継続して行う

【RAC事業所】総務課  
上水使用量削減

P Plan  
環境経営目標

上水の使用量を削減する

蛇口閉め忘れ・節水啓発ポスター等で注意喚起

使用別使用量の掲示

事業所を出入りする工事業者の人数を把握する

消火訓練の回数を把握する

C Check  
上水使用量（原単位管理：m3/人）

・2020年度実績【1.599m3/人】より 0.4%削減

目標値 1.592 m3/人 以下

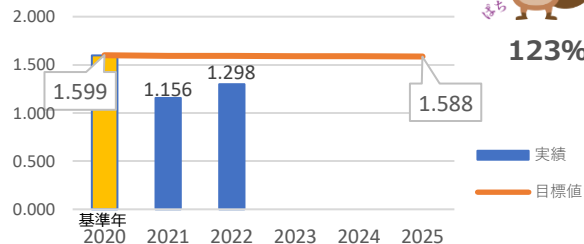
実績 1.298 m3/人

使用量：1,280m<sup>3</sup> /  
従業員数：986名（年間累計）

達成率



123%



【担当者コメント】

【達成要因】

今期（4月～2月）は工事業者の出入りが毎日あり上水の使用量が増えていました。中でも継続して節水啓発を行った結果、今期の目標は達成する事が出来ました。来期は更なる節水が出来るように節水グッズを使用し、節水啓発ポスター等を掲示し日々節水啓発を行っていきます。

【所属長コメント】

節水に対する啓発活動を実施することで、目標達成ができました。蛇口の締め忘れなど、発生した後すぐに朝礼などで注意喚起ができており、迅速な対応も目標達成に貢献できたと思います。引き続き節水啓発の監視をお願いします。

2023年度の計画 Pへ

2022年度の取り組みを継続して行う

【RAC事業所】業務一課  
工業用水使用量削減

P Plan  
環境経営目標

工業用水の使用量を削減する

雨水貯留タンクで12m<sup>3</sup>分を散水に活用する

散水設備の定期メンテナンスを行う

工業用水の蛇口の閉め忘れの注意喚起及び掲示を行う

C Check  
工業水使用量（原単位管理：L/t）

・2020年度実績【74.459L/t】より 0.2%削減

目標値 74.310L/t 以下

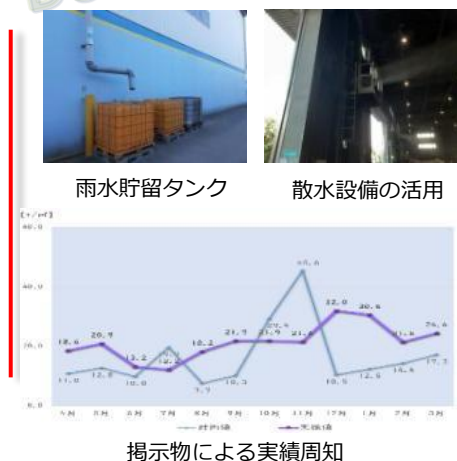
実績 38.646L/t

使用量：4,217m<sup>3</sup> /  
搬入量（処理量）：109,120 t

達成率



192%



掲示物による実績周知

【担当者コメント】

【達成要因】

今年度は環境経営計画の周知方法を毎月のミーティングで報告を行いました。効果はあると感じましたので、来年度も継続したいと思います。

【所属長コメント】

2022年度は年間で目標の144m<sup>3</sup>を上回る152m<sup>3</sup>の雨水活用を実施できました。散水設備もメンテナンスをする様に声掛けを行った結果もあり目標達成となりました。今後もミーティング等を行い目標達成に向けて継続してください。

2023年度の計画 Pへ

2022年度の取り組みを継続して行う



## 【BE事業所】エタノール課 上水使用量削減

### P 環境経営目標

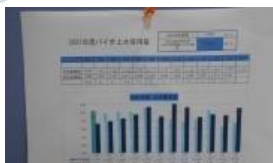
上水の使用量を削減する

蛇口閉め忘れ・節水啓発ポスター等で注意喚起

洗濯回数の把握

用途別使用量の揭示（見える化）

### D 上水使用量（原単位管理：m3/人）



揭示による見える化



注意喚起

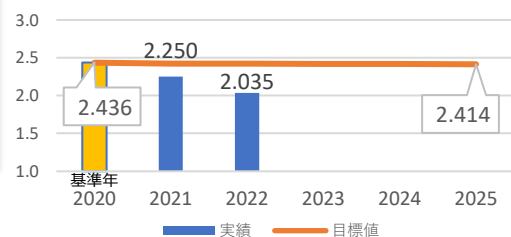
### C 上水使用量（原単位管理：m3/人）

・2020年度実績【2.436m3/人】より 0.6%削減

目標値 2.421 m3/人 以下 達成率

実績 2.035 m3/人

使用量：748.9m<sup>3</sup> / 従業員数：368人（年間累計）



119%

【担当者コメント】

【達成要因】

前年度と比較して、総使用量は約43m<sup>3</sup>の削減量となりました。7月にシャワー室のシャワーヘッドを節水タイプに変更した事も達成要因として考えられます。効果は小さいかもしれませんが一人一人の日々の節水意識により削減できると思うので、節水・啓発を継続していきます。

【所属長コメント】

効果の大きい対策はおおよそ終わっているので今後は啓蒙活動をいかに継続させるかが重要になってきます。朝、夕礼を活用し全員の意識レベル向上に努めて下さい。

2023年度の計画 P へ

2022年度取り組み項目を継続して行う

## 【BE事業所】エタノール課 工業用水使用量削減

### P 環境経営目標

工業用水の使用量を削減する

再利用水を優先的に使用し、工業用水の使用量を削減する

バイオエタノール事業所の冷却塔入口ラインの流量計の維持管理

### D 工業水使用量（原単位管理：m3/t）



雨水貯留タンク



散水設備の活用



再利用水の有効活用



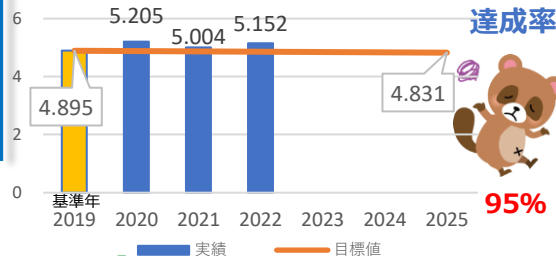
流量計の維持管理

・2017年～2018年度平均  
【4.895m3/t】より0.7%削減

目標値 4.861 m3/t 以下

実績 5.152 m3/t

使用量：66,920m<sup>3</sup> / ボイラー処理量：12,990 t



達成率

95%

【担当者コメント】

【未達成要因】

長年の取り組みとなりますが、工水から再利用水に変更できる場所は全て変更しました。設備で使用している工水を排水処理の高度処理水や減温塔用水（再生水）に変更し、総使用量は減少しましたが搬入量も減少したことにより、目標値は未達となりました。現状の搬入量が続くと考えられますが使用量の削減に努めます。

【所属長コメント】

搬入量については景気動向に左右されるので予測は難しいですが、状況に見合った効率的な運転を実施し使用量削減に努めて下さい。

2023年度の計画 P へ

2022年度取り組み項目を継続して行う

【GE事業所】EA21委員会GE事務局  
事業系一般廃棄物の削減

**P** 環境経営目標

事業系一般廃棄物の排出量を抑制・削減する

グループウェアを活用し、ペーパーレス会議・教育を実施する

用紙の使用量の分析行う

可燃物①、可燃物②、不燃物に分別する

分別調査の結果と重量の動向を周知する

マイ箸及び再生利用できる食器を推進する

**D**



分別ごみ箱 分別徹底表示

**C** 事業系一般廃棄物削減（総量管理：kg）

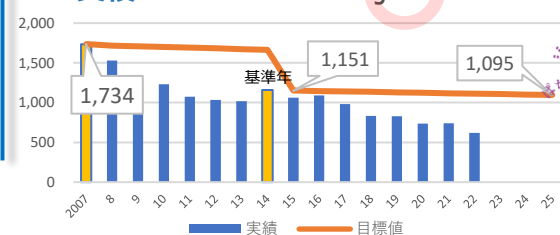
・2014年度実績【1158.2kg】より 4.0%削減

目標値 1111.9 kg以下

実績 617.91 kg

達成率

180%



【担当者コメント】

【達成要因】

2007年から取り組みをスタート。ごみ減量の意識が高まるとともに、目標値を大きく上回る実績となり乖離が大きくなりました。2014年度の実績を基に目標値を更に厳しくし再スタートを切る形を取りました。今年度も分別調査の強化・呼びかけにより目標が達成でき、今までで一番良い実績値となりました。食品ロスの意識が高まり、可燃物②の重量が年々減ってきています。

(可燃物①…紙類・プラスチック類 / 可燃物②…生ごみ・その他可燃物)

【所属長コメント】

会議のWEB化やグループウェアの活用等によってグループ全体においても紙使用量の削減は実践できていると思います。業務量増に対する紙使用量増については避けられない事ではありますが、システム改善について全員で考えなければならない課題となります。ごみの削減については確実に実施できており従業員の意識改革が進んでいると評価できます。

2023年度の計画 **P** へ

2022年度の取り組み項目を継続して行い、下記項目を目標に追加  
・文具用品をリユースする

【GE事業所】マテリアルリサイクル課  
リサイクル率の向上

**P**

環境経営目標

リサイクル率を向上し、廃棄物排出量を抑制する

リサイクル率を向上し、廃棄物排出量を抑制する

新たなリサイクル資源発掘の為の搬入物の分析評価を行う

リサイクル率向上に繋げるためのプラント改善を検討・実施する

**D**



手選別ライン



教育

**A**

【達成要因】

2008年度から取り組みを開始し、2012年度までの5年間は70%以上維持を目標としていました。2013年度以降はより厳しい目標値の設定を行い、1%/年の向上を加えて再スタート。焼却炉の安定運転と焼却灰のリサイクル処理により、サーマルリサイクル率が高い値で推移しました。今期は搬入量に対して埋め立て処分場行きの廃棄物が少なかったことにより、目標を大きく達成できた要因となりました。継続してリサイクル原料となる軟質プラの解析を行いリサイクル率に繋げていきます。

【担当者コメント】

【所属長コメント】

マテリアルリサイクル率は搬入物の性状により大きく変化します。今年度はコロナ禍であり世界情勢も不安定な中、搬入物量・内容物の変化が見られた年となりました。これまで安易に廃棄されてきたリサイクル可能な廃棄物は減っています。今後リサイクル不可能な廃棄物に対して、いかに工夫し対応していくか。が大きな課題となってきます。不可能を可能にできるような日々挑戦を続け、環境経営に貢献できるように頑張ってください。

2023年度の計画 **P** へ

2022年度の取り組み項目を継続して行う

**C**

リサイクル率（原単位管理：%）

・2012年度目標値【70.0%】より 10.0%向上

目標値 80.0 %以上

実績 93.6 %

リサイクル量：52,486 t / 搬入量：56,069 t

達成率



117%



【担当者コメント】

廃棄物排出量の削減

Action

## 【RAC事業所】総務課 事業系一般廃棄物の削減

### P 環境経営目標

事業系一般廃棄物の排出量を抑制・削減する

新規入場者への分別教育を実施する

裏紙利用の促進、電子化の推進

一般廃棄物の分別を徹底する

堺市主催の一般廃棄物セミナーに参加する

最新の法令・知識を取得し情報の共有化を図る

### D



分別ごみ箱 分別徹底表示



裏紙利用の推進

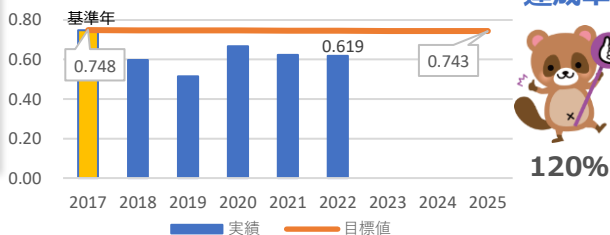
### C 事業系一般廃棄物削減（原単位管理：kg/人）

目標値 実績

・2017年度実績【0.748kg/人】より 0.5%削減

**0.744 kg/人以下 ▶ 0.619 kg/人**

排出量：515kg / 従業員数：832人（年間累計人数）



達成率

120%

【担当者コメント】

【達成要因】

日頃から社員の皆様には、ごみの削減や分別を意識しつつ取り組みを行っていただきましたが、まだ改善できる場所が見受けられます。再度、ごみの分別について認識いただくため、定期的に分別確認や声掛けを行い、少しでもゴミの量が減少していくよう引き続き取り組んでいきたいと思ひます。

【所属長コメント】

年間目標が達成できたことは一定の評価ができます。プラスチック容器のお弁当の分別を徹底し、ゴミの削減に努めたこと。また裏紙利用のルールなど細やかな運用が工夫できていました。引き続きごみの分別についての周知を行い、一般ごみの削減に努めていきましょう。

2023年度の計画 Pへ

2022年度の取り組み項目を継続して行う

## 【RAC事業所】業務一課 リサイクル率の向上

### P 環境経営目標

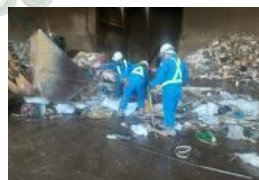
リサイクル率を向上し、廃棄物発生量を抑制する

木くずを毎月28t排出する

石膏ボードを毎月150t抽出する

コンクリートがらを毎月127t抽出する

### D



木くず



石膏ボード

### C

リサイクル率（原単位管理：%）

・2017年度実績【30.0%】より 1.5%向上

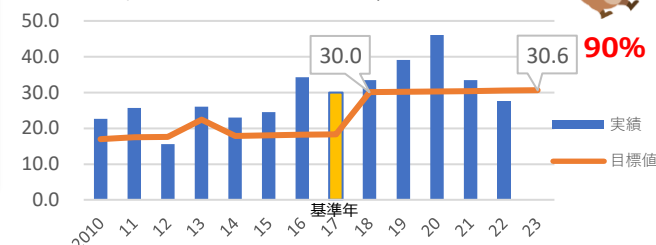
目標値 30.5%以上

実績 27.5%

達成率



埋立量：75,020 t / 搬入量：103,417 t



【担当者コメント】

【未達成要因】

今年度はプラント停止により可燃物の搬出が出来なかった事が大きな未達成要因となりました。2023年度は木くずの搬出を目標以上に達成できるように調整し、現場での回収強化で達成したいと思ひます。また、目標値の再設定も視野に入れ検討していきたいと思ひます。

【所属長コメント】

2022年度は本体プラントが停止しており、目標値である30.5%に全く届かない状況でした。木くずに関しましては未達成月が多い様に見えますが、事業所内で堆積している月も多くありました。累積評価が未達成だったのはプラントが停止になった為、可燃物の搬出が無かった結果です。作業員さんは指示をした回収強化をしっかりとしてくれております。2023年度からは可燃物も搬出していくので目標値を達成するように頑張ってください。

2023年度の計画 Pへ

2022年度の取り組み項目を継続して行い、目標t数を向上し取り組む

【BE事業所】総務課  
事業系一般廃棄物の削減

P Plan  
環境経営目標

事業系一般廃棄物の排出量を抑制・削減する

新規入場者への分別教育を実施する

裏紙利用の促進、電子化の推進

一般廃棄物の分別を徹底する

堺市主催の一般廃棄物セミナーに参加する。

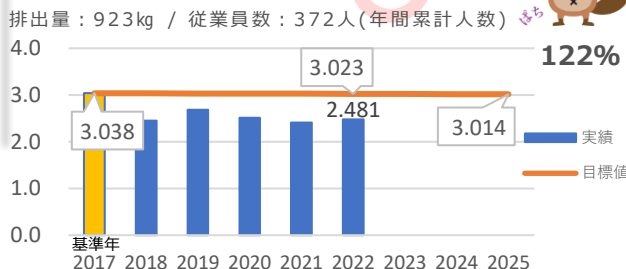
最新の法令・知識を取得し情報の共有を図る

C Check  
事業系一般廃棄物削減（原単位管理：kg/人）

・2017年度実績【3.038kg/人】より 0.5%削減

目標値 3.023 kg/人以下 達成率

実績 2.481 kg/人



排出量：923kg / 従業員数：372人(年間累計人数) 122%



プラスチック分別ルールの徹底



分別状況

【達成要因】

ゴミの分別状況、裏紙の使用状況、有価物の回収状況を確認しました。特に問題はありませんでした。ごみ袋の使用量削減のため、ペットボトルやアルミ缶を潰してリサイクルボックスに投入するように呼び掛けるなど、今までに実施していない事にも取り組みました。少しでも一般廃棄物が減るように取り組みます。

【所属長コメント】

一般廃棄物削減は全員参加の取り組みなので継続して下さい。朝礼などでも一般廃棄物削減と適正な分別の呼び掛けをお願いします。また、新規入場者が入ってこられた時はごみの分別方法も忘れずに教育する様にお願いします。

2023年度の計画 P ^

2022年度の取り組み項目を継続して行う

【BE事業所】エタノール課  
リサイクル率の向上

P Plan  
環境経営目標

リサイクル率を維持し、廃棄物排出量を抑制する

焼却設備の「燃え殻・ダスト発生率」を10%以下に抑える

D Do



燃え殻

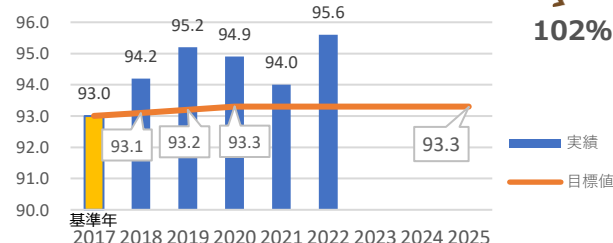
C Check  
リサイクル率（原単位管理：%）

・2017年度実績【93.0%】より 0.3%向上、維持

目標値 93.3 %維持

実績 95.6 %

埋立量：1,278 t / 搬入量：29,274 t



達成率



102%

【担当者コメント】

【達成要因】

炉内温度820度以上排ガス4項目自主基準値未滿で達成できています。チップ製造課では破砕時のミキシングにより含水率の安定化をはかり、サンプルを採取し含水を測定し、状況に応じた運転を行っています。1年を通して燃え殻の発生率を10%以下に抑えることができ、引き続き安定稼働、減容に努めていきます。

【所属長コメント】

減容化はグループ全体の利益に繋がる重要な項目となっています。設備の安定稼働の目安にもなるので監視の継続をお願いします。チップ製造課との情報交換を密に行い状況確認を効率よく行って下さい。

2023年度の計画 P ^

2022年度の取り組み項目を継続して行う

【GA関西】  
事業系一般廃棄物の削減

P 環境経営目標

事業系一般廃棄物の排出量を抑制・削減する

分別の徹底

裏紙利用、電子化の推進

D 事業系一般廃棄物削減（原単位管理：kg/人）

・2018年度実績【0.408kg/人】より 0.5%削減

目標値 0.406kg/人以下 達成率

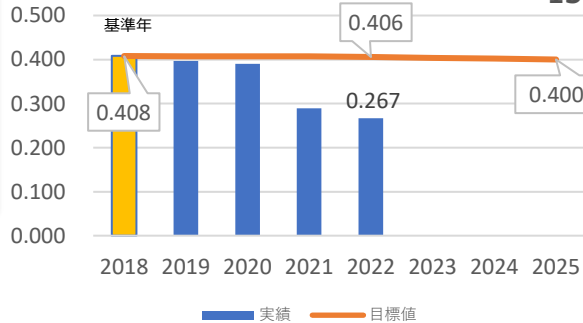
実績 0.267 kg/人

排出量：18.7kg / 従業員数：70人（年間累計人数）



152%

グリーン購入



分別の徹底



裏紙の利用

A Action

【担当者コメント】

例年通り目標達成となりましたが、人員が少ないからと過信せずと分別と裏紙の使用を継続し来期も目標達成を目指します。

【所属長コメント】

GA関西の人員は少人数のため目標が達成し易い環境ですが削減意識が薄れることで目標未達となる可能性があります。引き続き分別の徹底を継続し目標を達成を目指してください。

2023年度の計画 P へ

2022年度の取り組み項目を継続して行う

【GE事業所】総務課・計量課  
グリーン購入の推進

P 環境経営目標

グリーン購入を推進し、省資源に努める

環境に配慮した事務用品を購入する

プリンター車止め等は、再生加工製品を使用する

重機、設備、電気機器等グリーン購入法に基づいた物を積極的に使用する

水銀使用製品の購入を控える

D グリーン購入率（原単位管理：%）

・2010年度実績【34.0%】より 12%向上

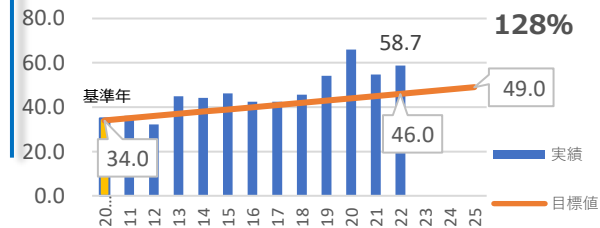
目標値 46.0%以上 達成率

実績 58.7%

物品購入数：383個 / 対象商品：225個



128%



廃プラスチック  
再生加工製品：プリンター・車止め

A Action

【達成要因】

事務用品購入時の対象商品精査がしっかりと行われており、高い購入率で達成できました。また物品購入数も前年に比べ減少しており、無駄な購入を抑えることができていました。水銀使用製品については、LED化が着実に進んでおり蛍光灯などの水銀使用製品の購入は減少しております。

【所属長コメント】

対象商品の選定、購入も浸透しており、目標も大きく達成できています。引き続き呼び掛けをお願いします。グリーン購入以外の環境配慮商品も多くあります。業務用だけでなく、家庭生活においても取り入れることが出来る環境配慮商品の紹介など、更なる意識向上に取り組んでください。

2023年度の計画 P へ

2022年度の取り組み項目を継続して行う

【GE事業所】 サーマルリサイクル課  
化学物質使用量の把握

**P** 環境経営目標  
化学物質の使用量を把握する

PRTR法にて、届出が必要な物質の使用量と移動量の把握

その他の化学物質の使用量の把握

SDSの一覧表を更新する

**D** Do **C** Check  
目標 実績



化学物質の在庫確認

化学物質使用量の把握 ▶ 順守



薬品タンクの確認

達成率



100%

**A** Action **C** Check  
【担当者コメント】

【達成要因】

日報、月報と現場点検で使用量のデータ取りを行って把握をしていました。燃え殻の熱灼が良くなっていますので、ダイオキシン類排出量がどの様に影響してくるか、今後も継続してデータ採取および把握を行っていきます。

【所属長コメント】

近年ますます化学物質の取り扱い・排出について規制が掛かってきており、環境への配慮を行う上で、非常に重要な区分だと再認識します。取り扱う作業員一人ひとりが高い知識を持って対応できるように基礎からの教育を行い意識付けを行いたいと思います。

2023年度の計画 **P** へ

2022年度の取り組み項目を継続して行う

【BE事業所】 エタノール課  
化学物質使用量の把握

**P** Plan **C** Check  
環境経営目標  
化学物質の使用量を把握し、適正な使用及び管理に努める

日常点検記録の実施

ボイラー水の水質管理

**D** Do **C** Check  
目標 実績



日常点検記録



ボイラー

化学物質使用量の把握 ▶ 順守



薬品保管庫

達成率



100%

**A** Action **C** Check  
【担当者コメント】

【達成要因】

薬品に関しては年間を通して適正に使用できています。管理値を超えている項目もありますが、日々の点検や水質結果に基づいて使用量を変更しています。ボイラー水は分析結果が基準値に達していない月が多く、薬品使用量を増やしたりブロー量を増やしたりと試行錯誤しながら行いました。ボイラー設備に関わる重要な部分なので常日頃から継続して監視を強めていきます。

【所属長コメント】

設備稼働の安定稼働には、必要不可欠な薬品を適正に使用し管理してくれています。基準値を逸脱していれば、都度対応してくれていますので、今後も継続して安定稼働に努めてください。

2023年度の計画 **P** へ

2022年度の取り組み項目を継続して行う

【GE事業所】サーマルリサイクル課  
排ガス自主基準値の順守

- P** 環境経営目標
- 排ガスの監視を行い、自主基準値を順守する  
【測定5項目 (O<sub>2</sub>、No<sub>x</sub>、SO<sub>2</sub>、CO、HCl) の1日あたりの自主基準値を順守】
- 搬入物の処理計画を立て、適正な処理を行う
- 燃焼温度の自主基準値を順守する
- 分析計による排ガスの動向を管理し、異常に対し迅速に対応、復旧を行う
- テレメーター設置によるリアルタイムな排ガス濃度データを堺市に送信する
- DCS監視マニュアルを整理する

**D** Do

排ガス排出基準		
	堺市	GE自主基準値
NO <sub>x</sub> (O <sub>2</sub> 12%換算)	50ppm	45ppm
SO <sub>x</sub> (O <sub>2</sub> 12%換算)	55ppm	50ppm
HCl (O <sub>2</sub> 12%換算)	65ppm	60ppm
CO (O <sub>2</sub> 12%換算)	100ppm	90ppm
水銀	0.014mg/Nm <sup>3</sup>	0.014mg/Nm <sup>3</sup>
ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/Nm <sup>3</sup>	0.1ng-TEQ/Nm <sup>3</sup>
ばいじん	0.04g/Nm <sup>3</sup>	0.04g/Nm <sup>3</sup>

項目	廃掃法施行規則	自主管理値
燃焼ガス温度	800℃以上	830℃以上
燃焼ガス温度 (PCB)	850℃以上	850℃以上


排ガス及び温度の管理値の表示

**C** Check

目標 実績

超過件数1回以内/月 ▶ 順守

達成率 100%



テレメーターシステム

**A** Action

【担当者コメント】

【達成要因】

年間を通して、1日あたりではなく時間あたりの排ガス超過が目立つ結果となりました。中央監視室全体の運転管理技術向上及び廃棄物に対する知識、特性の把握が来期に向けた課題となります。

【所属長コメント】

様々な廃棄物を処理する上で排ガスの変動が起こるのは仕方がない事です。変動が起こった際の初期行動までの判断に時間を要している事と、類似トラブルについて、報連相が上手く機能していなかった事が時間あたりの超過に繋がっている要因です。教育の見直しを掛け、早い段階で行動を取れるようにしてください。

2023年度の計画 **P** へ

2022年度の取り組み項目を継続して行う

【GE事業所】緑の委員会  
地域貢献・緑の活動

- P** 環境経営目標
- 場内緑化及び場内外美化活動を積極的に推進し、  
緑豊かな事業所づくりに取り組む
- 場外周辺歩道の美化活動・場内緑のパトロール・緑と花マップ作成の実施
- 社旗周辺の緑地帯の手入れを行う
- 花コンテスト・マイグリーンコンテストを1回/年開催する
- 三重県大台町森林再生PJの苗を育てる
- さくら満開PJの推進
- 外部の活動に参加する (7-3区の植樹・雑草刈り・石津川駅前清掃他)

**D** Do



月1回の美化活動



緑のパトロール



緑の勉強会作品



地元清掃活動

達成率 100%

**C** Check

目標 実績

草花の栽培及び美化活動の実施 ▶ 実施



**A** Action

【担当者コメント】

【達成要因】

2022年度からはGE事業所だけではなくDINS関西として、合同での緑の委員が始まりました。様々な活動に参加して非常にたくさんの経験をする事が出来ました。他事業所の方から、GEのやり方を覚えたい勉強させてほしいと言ってくれ、逆の良い刺激になったと思います。しかしながら課題も多く、飛散物の回収や駐車場の草抜き、低木の手入れなど、手の行き届いていない所もまだまだあり、今後の課題となっております。外部活動への参加については、皆さん協力的に参加してくれています。今後もよろしくお願いたします。

【所属長コメント】

緑の委員会については創業者精神から始まり、グループ全体で行われている活動ですが、各事業所それぞれで工夫をしていると感じます。GE事業所においてもマンネリ化にならない様にDINS関西各事業所と協力し取り組んでください。様々な課題がありますが、少しずつ改善・成長できるように取り組みを行ってください。

2023年度の計画 **P** へ

2022年度の取り組み項目を継続して行う

[RAC・BE・GA関西共通]  
**地域貢献・緑の活動、全員参加型環境活動の推進**

**P**lan  
**環境経営目標**

清掃、地域貢献の推進、全員参加型の取り組み、  
**環境ラリー全体項目10点以上獲得**

クリーンDAY、駅前、防波堤清掃の実施【毎月】

桜満開プロジェクト・クリーンDAYの累計活動人数達成（150名）

環境ラリーの見える化の実施

**D**o



クリーンDAY



桜満開PJ



環境ラリー見える化



駅前清掃



防波堤清掃

**A**ction

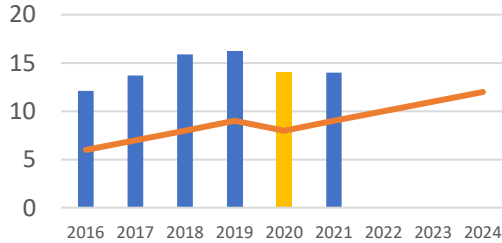
**C**heck



達成率  
**150%**

**環境ラリー（10点以上獲得）**

・2020年度実績【8.0点】より  
 2点向上



目標値 **10.0 点以上**

実績 **15.0点**

※環境ラリーの取組詳細についてはP27をご参照ください。

DINS関西では毎月の地域清掃（クリーンDAY）や桜満開プロジェクトなど地域貢献活動を推進し、全員参加が出来るように「みどりの委員会」「環境事務局」で協力し様々な取り組みを実施しています。

桜満開プロジェクトとは？

2018年9月に近畿地方に上陸した台風21号の影響でDINS関西近隣の公園内にある桜の木が軒並み影響を受けました。DINS関西メンバーはまたいつの日か桜が満開になることを夢に桜満開プロジェクトを立ち上げ、3年目の取り組みとなりました。



【担当者コメント】

【達成要因】

目標項目に対しては、全体を通して目標を達成できています。清掃活動に関しては、毎月積極的に活動出来たと感じます。環境ラリーの平均点に関しては、目標値はクリアしたものの、大栄環境グループ全体での評価としてみたときに平均を下回っていますので、更なる向上が必要と感じました。次年度も引き続き取り組みの強化を行っていききたいと思います。

【所属長コメント】

クリーンDAYの参加者が少ない様に思います。業務多忙は理解しますが、各課所属長を中心に取り組むことが必要と感じます。桜満開PJに関しては、PJに参加している方は状況把握ができていますが、参加していない方については、状況把握が難しい様に思えます。もう少し見える化が必要と感じます。EA21委員会開催時、写真を見ていただく等の対応をお願いします。環境ラリーについては、各協力会社メンバーの得点を上げていく事が重要と感じます。各取り組みでの苦勞があると思いますが、引き続きよろしく願いいたします。

2023年度の計画 **P**へ

2022年度の取り組み項目を継続して行う



# みどりの委員会

みどりの年間活動スケジュールを立て、花壇に常に花が咲いているのを目指し、緑化・美化活動に取り組んでいます。DINS関西合同で月に1回みどりの委員会を開催し、活動内容の報告や意見交換を行い、各事業所のみどりの活動に活かしています。フラワーコンテストや堺市主催の出前講座など多くの方に参加してもらえるようなイベントも行っており、みどりに親しみや興味を持ち、楽しめるような活動をしています。また桜満開PJやグループの三重大台自然林再生PJなど地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

## 各事業所の活動



各事業所、オリジナリティー溢れる花壇を製作し従業員や来社される方の癒しとなっています。グリーンカーテンで育ったゴーヤは収穫し、従業員が持ち帰って調理して食べていただきました。できるだけ沢山の方にみどりの活動に興味を持ってもらえるように取り組んでいます。

## みどりの委員会



毎月みどりの委員会を開催し、事業所の活動やイベント等の打合わせを行います。

## フラワーコンテスト



年に数回フラワーコンテストを開催し、各課競い合っています。

## 出前講座



講師をお招きして手軽に作れ、楽しめるカラーサンドや多肉植物を作製しました。製作したものは事業所に飾っています。

## 桜満開PJ

D-MEN!



台風の影響で寂しくなった公園に新たに桜を植樹しました。大きく育ち満開になるのを楽しみにしています。

## 三重大台自然林再生PJ

D-MEN!!



大台町の山林で種を採取し各事業所で育て、崩落地に植樹しています。元の木々豊かな森に戻します。

## おおさかクリーン大作戦

D-MEN!!!



大阪府の活動に賛同し、おおさかクリーン大作戦を実施しました。

# 教育・訓練

年間計画に基づきDINS関西(株)全体で計102項目の教育・訓練を実施しています。教育では、従業員が講師を務めることにより、教える側・受ける側の両者の育成に繋がっています。また、訓練では緊急時の作業標準書や迅速に対応できるように自衛消防隊組織を整備し、定期的に緊急事態対応訓練を行っています。ほんの一部ではありますがご紹介させていただきます。

## ・ 消防避難訓練



年に2回、消防避難訓練を実施しています。堺市消防局の方に立会いをして頂く訓練と新入社員を対象にした消火訓練を実施し、有事の際に備えています。エンジン式消火ポンプを使用しての訓練も回数を重ねるごとに、迅速に対応できるようになり、通報や避難についてもスムーズになり、消防署員の方からもお褒めの言葉をいただきました。有事の際には、訓練のように人数が揃っていても限らないため、自分の役割以外のことにも対応できるよう日頃から準備しておかないといけないと感じました。



## ・ 廃棄物漏洩訓練



部署毎に廃棄物漏洩時訓練を実施しています。机上教育だけでなく、実際に土嚢や水中ポンプ、吸引車を使用しています。最終会所柵の封鎖訓練、低濃度PCB絶縁油が漏洩した場合等、廃棄物の種類、漏洩場所により対応が変わるため、いくつかのパターンを想定し、緊急時に混乱なく行動できるよう部署毎に応じた訓練を実施しています。実技訓練の後には改善点や反省点を話し合い、有事に備えています。訓練することにより、漏洩を起こさない意識づけとともに、有事の際に迅速な対応に繋がります。



## ・ 地震避難訓練



年に1回、地震避難訓練を実施しています。「大阪880万人訓練」にあわせての地震・津波避難訓練を行っております。二次災害防止の為、機器停止や廃棄物の漏洩等を防ぎます。シャッター全閉、事務所ではガスの元栓や、エレベータでの閉じ込めがないか、また取り残されている人はいないかを場内を走って確認し、駐車場へ避難します。負傷者がいないことを確認し、津波発生に備えてサーマルリサイクル棟4階へといけば避難は完了です。きびきびと迅速に避難はできましたが、反省点もいくつかありました。これらを反映し、有事の際に対応できるよう取り組んでまいります。



## ・ 泡消火器使用訓練



弊社の廃棄物には特殊な薬品や溶剤がたくさんあり、通常の消火器や放水では消火できない場合もあります。取り扱いや処理には十分注意していますが、万が一を想定し泡消火器の使用訓練を実施しています。消火器や消火ポンプは訓練で扱いなれていますが泡消火器は特殊なため、日頃から訓練を行っていないと取り扱いに手間取ってしまい消火が遅くなり大変危険な為、全従業員真剣に訓練を行っています。すべての訓練が意識付けされ、火災や自然災害時に的確な判断と行動に繋がりを、被害を最小限に食い止めることができます。



## ・ 電気保安教育



年に1回、日頃の防災意識を高めるために、電気の保安教育を行っています。内容はDVD視聴による教育で、電気設備や電気機器の故障や不備、整備不良、または誤った使用や設計によって生じる事故などで起こりえる感電、漏電、火災などの電気事故防止に役立てております。



## ・ eco検定勉強会



毎年、7月と11月の年に2回実施されているeco検定の合格を目指し、勉強会を実施しています。勉強会としては試験直前の5月と10月の年に2回実施しています。内容は受験生のサポートとして、テキストを利用した勉強方法を、eco検定合格者が講師となって伝授。更に試験当日までのスケジュールの組み方や実際に過去問を解いていただき、受験者の不安を少しでも解消し、各受験者に寄り添った勉強会を実施しています。また、教わる側、教える側の両方の立場を経験でき、従業員のスキルアップにも繋がる教育となっております。



## 安全衛生委員会

毎月第2木曜日に安全衛生委員会を開催しています。また月に1度、現場中心の安全パトロールと週一回の衛生パトロールを行います。本部による安全巡視もあり、パトロールで指摘のあった箇所はすぐに安全衛生委員に伝えられ改善策が話し合われます。自分たちでリスクを抽出し、すぐに改善できるシステムを構築しています。ほかに、社内の掲示板で安全・衛生の意識啓発ポスターを作成しています。



# 外部コミュニケーション

2022年度も感染症拡大により、多くの外部コミュニケーションが中止となりましたが、DINS関西では感染予防などしっかりと行い、桜満開PJを始め様々な地域貢献活動を行っております。



## 2022年度 最優秀賞作品

凄く上手に描いてくれているね!! 28ページ以降にみんなの作品を掲載しているよ!



## 環境学習支援活動 小学生環境ポスター

大栄環境グループ各事業所が近隣小学校に応募案内を行い、素晴らしい作品の中から最優秀賞、優秀賞、努力賞を選定し発表しています。この後の環境ラリーの取り組み紹介28ページより、素晴らしい応募作品をご覧ください。



## ペットボトルキャップ回収活動

大栄環境グループの取り組みの中で、回収したペットボトルキャップの売上金の一部をJCV（世界の子どもたちにワクチンを日本委員会）に寄付をしています。

2022年度DINS関西ペットボトルキャップ回収量 : **305.44kg**

**【ワクチン量 : 234.9人分】**

※1.3kgで1人分のワクチン量として換算

**【CO2の削減量 : 962.136kg】**

※1kgあたり3.15kgのCO2排出量として換算

## プルタブの寄贈

DINS関西の社内で集めたプルタブは、プルタブを車椅子に交換する活動をしている地元小学校などに寄贈しています。

## 小学校の環境学習SDGs講座



現在、新型コロナウイルスの影響により、開催出来ておりませんが、地元の堺市立鳳小学校で、PTAの方々からの依頼により小学生とその保護者のみなさんを対象に「SDGs講座」を実施しています。小学生を対象とした講座は2019年度からスタートし、2回の開催をしました。現状の環境活動や問題に対して、子供たちに伝わるよう、部署内で試行錯誤し、楽しく学べる場を目標として開催しました。

最後には、PTAの方々や小学校教諭から、お褒めの言葉や「ぜひまたやってほしい」といった声を頂くことができました。



配布資料

## インターンシップの受入

高校生や大学生のインターンシップの受入を実施しています。環境保全事業や分析業務に興味のある方が多く、熱心に事業内容を聞いていただいています。今後も積極的に受入し、多くの方にリサイクル事業を知っていただきたいと思ひます。



# 環境ラリー

環境ラリーは全員参加型の環境活動で環境アクションをポイント化し評価する活動です。SDGsの17個の目標と組み合わせることでSDGsの周知と理解に繋げ、環境管理活動の活性化を図ることを目的にしています。2022年度は大栄環境グループ全体で参加者が2500名を超えました！！

## 大栄環境グループ統一項目

## 『環境ラリーでSDGsを“自分事”に』 環境ラリー記入用紙



環境川柳の提出  
【提出数に関わらず 1点】  
SDGs項目から毎月出題

### 2022年度 月間最優秀作品



「健康は 支える人への 恩返し」  
「不足して初めて気付く 大切さ」  
「結婚が 決まった息子に 料理指導」  
「子の寝顔 早く帰れば 子の笑顔」  
「住む街で 電気と資源 ぐるぐる」  
「まず知ろう 自分のまちの 良いところ」  
「要らぬなら LINE 送れよ 晩ごはん」  
「暖房費 節約するため 今日も鍋」  
「青い海 昔も今もこれからも」  
「新緑の ひざしの中から ホーホケキヨ」  
「べつしたの？ その一言が 助け」

### 事業所個別項目

事業所別項目は大栄環境グループ内の各事業所で設定し、取り組みを行います。DINS関西内でも事業所別でオリジナルの取り組みを行っております。事業所項目につきましては30ページをご覧ください。

環境ラリー 2022			部署名：( ) / 氏名：( )				
項目	備考	点数	4月	5月	6月	7月	8月
環境川柳の提出	提出首数に関わらず	1点	1				
1 支援に繋がる寄付・募金を行う ～できることから始めよう～	点数、金額、回数に関わらず	1点					
2 食品ロスの削減 エシカル消費の促進	①消費期限の近づいた値引き商品を購入 or ②「認証マーク」付や「エシカル商品」の購入	1点					
3 感染症対策を公私問わず徹底している	職場・自宅での手洗いやうがい、 出時マスク、ソーシャルディスタンス等 外	1点					
4 環境クイズに答える (環境レターに掲載)	毎月出されるクイズに回答 答え	1点					
5 ジェンダー平等を自分事に	ジェンダー記事を探し、紹介・伝達(公私問わず)	1点					
6 海や川を汚さない	汚れた水(液体)を流さない 回数に関わらず	1点					
7 公私問わず、「脱化石燃料車」の習慣化	公共交通機関の利用、自転車、徒歩等	1点					
8 ノー残業デー(残業より15分以内に退社(複数でも1点/月))	～好きなことをして過ごそう～ 日付	1点					
9 大栄環境Gr.で働くことが「GOAL 9」に繋がっている認識をずく(全員 1点)	私の業務内容は 【 】 です	1点	1	1	1	1	1
10 回収物(ペットボトルキャップおよびアルミ缶)の提出	ペットボトルキャップ(1個以上) アルミ缶(1個以上)	1点 1点					
11 地域貢献	清掃イベント等に参加(回数に関わらず) 地域の農産物などを購入(自家製含む)	1点 1点					
12 プラスチック製品を断る または 詰め替え用品の使用	回数に関わらず	1点					
15 みどりの活動への参加(花壇の手入れ)	回数に関わらず	1点					
グループ統一項目 合計得点記入欄(No.1～No.13までの合計点)							
14		1点					
15		1点					
全項目 合計点数記入欄(No.1～No.15までの合計点)							
環境管理委員押印欄							
環境管理事務局押印欄							

環境ラリー取り組み紹介を「環境学習支援活動 環境ポスター」と共にご紹介させていただきます！  
大栄環境グループ各事業所が近隣小学校に応募案内を行い、小学生たちが描いてくれた  
沢山の作品の中から見事に受賞した作品をご覧ください★

## グループ統一項目No.1 支援に繋がる寄付・募金を行う ～できることから始めよう～



### 【点数、金額、回数に関わらず 1点】

駅やレジ前の募金箱に募金をしたり、文房具の寄付など支援に繋がる内容であれば加点できます。  
コンビニ、スーパーの募金箱等で金額は1円からOK。もちろん、施設等に対する寄付でもOKです。

## グループ統一項目No.2 食品ロスの撲滅 エシカル消費の促進

### 【消費期限の近づいた値引き商品を購入or 「認証マーク」付や「エシカル商品」の購入で1点】

**M S C 認証**…乱獲を防止したり、環境に配慮した漁法など、持続可能な漁業で獲られた水産物へ与えられる認証マーク。

**a s c 認証**…環境や地域社会に配慮した養殖業へ与えられる認証マーク。

**フェアトレード認証**…公正・公平な取引（貿易）を促進するための認証制度。輸出入、加工、製造工程で国際フェアトレード基準が守られている事を証明しています。

**R S P O 認証**…持続可能なパーム油の生産と利用を促進するための認証制度。持続可能な生産を行う農園や搾油工場へ与えられる認証マーク。または認証を受けている農園や工場の製品を取り扱う製造、加工、流通業へ与えられる。  
どんな形の認証マークがあるかスーパーに行って調べてみて下さい☆



## グループ統一項目No.3 感染症対策を公私問わず徹底している



### 【職場・自宅での手洗いやうがい、外出時のマスク、ソーシャルディスタンス等の感染症対策を徹底で1点】

手洗いうがい、マスクの着用。コロナ禍では当たり前になりましたね。家族の健康の為に感染症対策はしっかりと行いましょう！！

## グループ統一項目No.4 環境クイズに答える（環境レターに掲載）



### 【毎月配信される環境レターのクイズに答える。クイズは不正解でも答えていれば1点】

大栄環境グループ各事業所が毎月持回りで環境レターを発行しています。この環境レターには各事業所の環境活動や、大栄環境グループが一丸となって取り組みを行っている環境クイズの掲載、SDGs環境川柳のテーマが掲載されています。この環境クイズに回答すると1点加点できます。

## グループ統一項目No.5 ジェンダーに関する記事を読む ～知ることから始めよう～



### 【ジェンダー記事を探し、紹介・伝達（公私問わず）で1点】

自らジェンダーにまつわる記事を探して読み、周囲と共有し認識を高めれば1点。



## グループ統一項目No.6 海や川を汚さない



【汚れた水〈液体〉を流さない。回数に関わらず1点】

ひどい汚れや油は紙等で拭いてから洗う、洗濯は生分解性の高い石鹸や無リン洗剤を適量使うなどの生活排水で川を汚さない配慮をすれば1点。

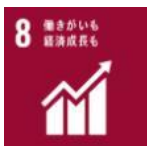
## グループ統一項目No.7 公私問わず、「脱化石燃料車」の習慣化



【「ノーマイカーデー」や、生活の中で少しでも車やバイクに頼らない活動をすれば1点】

近所への買い物などは自転車や徒歩で行うなど。

## グループ統一項目No.8 ノー残業デー終業より15分以内に退社



【各事業所が定める「ノー残業デー」に、終業時間後15分以内に退社すれば1点】

「ノー残業デー」を活用し、プライベート時間を確保することによりワークライフバランスを整えましょう。働き方改革の一環でもあり、少しでも早く帰社して家族との大切な時間にしていただき、従業員満足度の向上にも繋がっております。

## グループ統一項目No.9 大栄環境Gr.で働くことが「GOAL9」に繋がっている認識をする



【業務内容を記載で1点】

大栄環境グループ全従業員が、SDGs「GOAL9」に繋がる業務をしていること、自分の業務にも繋がりがあること認識するため、自分自身の業務内容を記載し、毎月採点時に再認識をしていただきます。

## グループ統一項目No.10 回収物（ペットボトルキャップおよびアルミ缶）の提出



【キャップ1個以上、アルミ缶1個以上の提出で1点】

量に関わらず1点加点できます。今ではこの取り組みも当たり前化しており、ペットボトルキャップやアルミ缶を沢山回収しております。事業所によってはプルタブ・ベルマークも回収していただいております。



ベルマーク貯金箱

## グループ統一項目No.11 地域貢献



【清掃イベント等に参加（回数に関わらず1点）／地域の農産物などを購入（回数に関わらず1点）】

清掃イベント等に参加…地域の清掃活動などのイベントに参加し地域貢献活動を行う。

地域の農産物などの購入…地産地消を意識する。家庭菜園の野菜などもOK！



## グループ統一項目No.12 プラスチック製品を断る または 詰め替え用品の使用



【回数に関わらず 1点】

レジ袋は私たちの生活の中で非常に身近なものであり、現在の大量消費・大量廃棄型のライフスタイルを見直すきっかけとして誰もが取り組める環境活動です。買い物の際にスプーンなどのプラスチックを断るまたは詰め替え用品の使用で1点加点できます。



## グループ統一項目No.13 みどりの活動への参加(花壇の手入れ)



【回数に関わらず 1点】

草抜きや花壇の手入れなどの緑の活動に参加すれば1点の加点となります。



## 事業所個別項目 (RAC事業所・BE事業所) 有価物の提出(スチール缶、段ボール、紙屑)

感謝と共に花壇の手入れをするD-MEN



SDGsが世に広まる前にDINS関西で新たな取り組みとして何かないか？ということ社内で検討した結果、「家庭から出た鉄くず」を会社で集めて有価物として売却しよう！ということとなりました。売上金はユニセフなどに寄付しています。従業員の家庭からでた有価物をリサイクルボックスに提出したら1点の加点となります。



## 事業所個別項目 (GE事業所)

### マイ環境活動



**マイ環境活動例**  
 レジ袋を断る、エコバックの利用/通勤車両の燃費管理/週に1回はPCのフォルダを整理する/週1度ノーマイカーデーをつくる/節水、節電対策を行う…等



## 事業所個別項目 (GE事業所)

### 各家庭の電気使用量を把握する

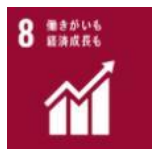
各家庭の電気使用量を毎月把握し、節電の意識を向上できるように取り組んでいただいております。自宅の使用電力量を記載すれば1点加点となります。



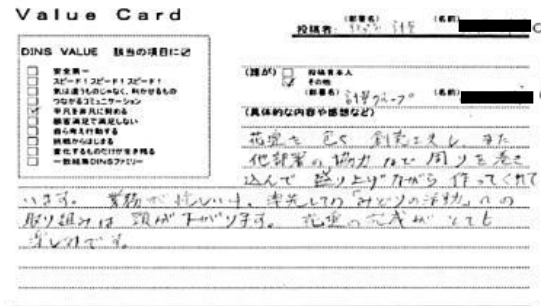


# 環境ラリーから生まれた取り組み

## バリューカード



大栄環境グループのブランド価値を高める行動を“DINS Value”として投稿。毎月、抽選で2名の投稿者に賞金を渡しています。この取組を行う事によって、従業員のモチベーション・満足度の向上に繋がっています。



## エコライフアイデアの提案



エコライフアイデアの提案は2019年度から運用が開始され、過去の環境ラリー項目に入っておりました。現在はラリーの項目ではなくなりましたが、GE事業所では運用のみが今も残り続けています。様々なアイデアの中から実際に取り組める内容のものを採用し、今では当たり前化しているものもあります。

## 雨水の有効活用



GE事業所では、エコライフアイデアの取組による従業員からの提案により、2019年度から運用が開始されました。自転車置き場横に雨水タンク(50Lタンク×2個)を設置し、主に花の水やり等の緑の活動に使用をしております。また洗濯水にも活用するなど、様々な利活用をする事で上水使用量の削減に繋がっています。

エコライフアイデア提案用紙 2022年1月14日

部署名(会社名)	加納院(株)のE事業所 新築課		
氏名	[Redacted]		
エコライフアイデア名	水廻り 雑草の抑制促進		
実施区分	施設	地域	職場
提案内容	事業所内で使った雑草を乾燥して肥料にする。		
効果(金額換算で算出可能の場合は記入)	年間1万円(雑草の抑制)	760円(雑草の抑制)	1万円(雑草の抑制)
	経費: 3000円	1万円(雑草の抑制)	1万円(雑草の抑制)
	稼働時間: 3.5時間	1万円(雑草の抑制)	1万円(雑草の抑制)
	1回作業時: 0.1時間	1万円(雑草の抑制)	1万円(雑草の抑制)
	水も自然に有効に活用。コスト削減に繋がります。		

(作業期間: 3時間)



2021年度の最優秀賞作品



2020年度の最優秀賞作品



## Aランクペットボトルで廃棄



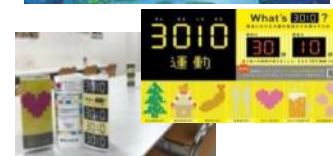
従業員からの提案でエコライフアイデアの取組として始まりました。ペットボトル廃棄時には必ず洗浄し、ラベルを切り離して廃棄しています。また、月に一度分別チェックも行い従業員に周知を行っております。

## 3010運動の推奨



社内の食堂にポスターや卓上三角POPで意識啓発をしています。

- 3010運動は、宴会時の食べ残しを減らすためのキャンペーン
- <乾杯後30分間>は席を立たずに料理を楽しみましょう。
  - <お開き10分前>になったら、自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょうと呼びかけて、食品ロスを削減する取組です。職場や知人との宴会から始めていただき、一人ひとりが「もったいない」を心がけ、楽しく美味しく宴会を楽しみましょう。



# D-MEN

## What's D-MEN ?

海洋プラスチック問題、気候変動による地球温暖化、それに伴う異常気象による災害、黒潮大蛇行…

人類は利便性と引き換えに、深刻なピンチを招いている…  
地球は一体この先、どうなってしまうのか！？  
世界を救う救世主はいないのか？

…いや、いる。ヒーローは確実に…

あるときは、人間生活・産業・自然との共生を目指し、  
日夜働く大栄環境グループの社員…  
またあるときは、創造・改革・挑戦の信念を内に秘めた  
正義のヒーロー、人は敬意を込めて彼らをこう呼ぶ…



清掃活動後の清々しい姿のD-MEN達



堺市まち美化促進プログラムを活用し  
事業所周辺の美化を実施

## What are they doing?

彼らは月一、定期的に会社周辺を清掃している。  
誰に頼まれた訳でもなく、ただ、黙々と、粛々と…  
彼らが手にしているのは、単なるゴミをつかむための火バサミ  
ではなく、未来の子孫へのバトンである。



天神祭りゴミゼロ大作戦



堺市役所周辺清掃

彼らはまた、地元町内会が主催する年2回のイベント、  
石津川駅前清掃に欠かさず参加し、日頃培った清掃パワーを余さ  
ず発揮している…



共生の森植樹活動 植樹中



石津川駅前周辺清掃

さらには、大阪府が管轄する  
堺第7-3区「共生の森」にて、  
年1回の植樹、草刈りイベント  
にも欠かさず参加し、環境創造企業の神髓を垣間見せている…

近隣の清掃活動、近隣の共生の森関連のイベント、分別ボラ  
ティアスタッフ、近隣の小学校へのプルタブの寄贈など、  
D-MENの活躍の場は決して狭くはない。  
気付くとほら、アナタの後ろに…

# 桜満開プロジェクト編

## Japanese "SAKURA !"

説明しよう！

2018年に近畿地方を襲った台風21号…  
その爪痕に、桜を植えるプロジェクトが  
2019年にスタートした。その名は…

### 「桜満開プロジェクト!!!

(プロジェクト!!! (以下、I))



2018年台風後の桜の状態



桜、そうそれは日本の心。  
古き良き昭和の感性を持った世代、バランス感覚の優れた平成世代  
が共存する会社で、日本の心を忘れないようD-MENは桜を植える。  
D-MENが求めるものは、満開の桜だけではなく、  
貴方の満開の笑顔なのである…



おやおや、どうやら咲き初めたようですね。  
貴方のココロの、チェリーブラッサムが、ね…

## RE: "BORN" 2022

ひとたび生を得て、滅せぬもののあるべきか…  
2019年に植えた桜は、昨今の猛暑に屈し、一部が枯れてしまった…  
しかし、我々の不屈の闘志は枯れはせぬ！  
そこに希望という苗木がある限り、我々は植え続ける！セイヤツ！



ザ☆土づくり！



耕せ！D-ARM号！！



悔いなき杭打ち！



勝利のD-MEN！！！！

## Everyone is D-MEN from today!

君は現在の地球環境に疑問を感じてはいないか？  
そう、地球環境を守りたいと願う心が、D-MENへの入隊資格。

地球環境を良くしよう！ゴミを減らそう！ゴミを拾おう！  
リサイクルを推進しよう！CO2削減のため、植樹しよう！！  
そう、D-MENになるキッカケは、常にアナタの心の中にある。

君もD-MENに、ナ・ラ・ナ・イ・カ☆

# D-MEN And you, too !

## 終わりにあたって

平素は皆様方からひとかたならぬ御愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

最後までご高覧頂きありがとうございました。

今後もエコアクション21の仕組みを活用してP D C Aサイクルを回し、よりよい職場にしていくと従業員一同、固く決意しています。

わたしたちは、全てのステークホルダーの皆さまによりよいご報告を継続して行えるように環境経営活動を推進してまいります。

DINS関西株式会社  
代表取締役 下地 正勝

僕はDINS関西のすぐ近くにある、「堺第7-3区 共生の森」っていう所に住んでいる『タヌキ』だよ！DINS関西のフォトコンテストにも参加したこともあるんだよ！DINS関西や植樹活動に来てくれたら僕に会えるかもねっ！！みんな仲良くしてね☆最後まで見てくれてありがとう。

背景：2021年度SDGsフォトコンテスト応募作品より

人間生活

産業

自然



DINSとは・・・ DAIEI | NTER NATURE SYSTEMの略です。

DINS関西株式会社は廃棄物処理業を、人間生活・産業・自然の間にあるものと位置づけ、廃棄物を再生加工し、再び、人間生活・産業・自然に循環させることと考えています。そのため、『DAIEI INTER NATURE SYSTEM』という、リサイクルシステムを構築し、グループ体となった取り組みで持続可能な循環型社会の構築を目指しています。

ディンズマーク  
3つの輪はそれぞれ「人間生活」、「産業」、「自然」を表しております。

次回環境経営レポートは2024年7月発行予定です。

資源に変えるチカラ、自然に還すチカラ。  
DINS 大栄環境グループ